



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成31年3月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成30年12月	平成31年3月	前回調査比
茨城県	47.8	47.1	△0.7
県北地域	48.7	40.9	△7.8
県央地域	47.5	52.6	+5.1
鹿行地域	49.1	46.5	△2.6
県南地域	50.0	50.9	+0.9
県西地域	44.0	44.6	+0.6

《景気の先行き判断DI》

	平成30年12月	平成31年3月	前回調査比
茨城県	49.5	48.0	△1.5
県北地域	50.0	43.5	△6.5
県央地域	50.8	54.3	+3.5
鹿行地域	48.7	49.1	+0.4
県南地域	47.8	50.0	+2.2
県西地域	50.0	42.9	△7.1

平成31年4月

茨城県政策企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	20
3	その他の意見	30

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

[http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukk
a/watch/index.html](http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukk
a/watch/index.html)

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業等	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	287 人	95.7%
県北地域	60 人	58 人	96.7%
県央地域	60 人	58 人	96.7%
鹿行地域	60 人	57 人	95.0%
県南地域	60 人	58 人	96.7%
県西地域	60 人	56 人	93.3%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

5 調査月及び調査期間

調査月は6月、9月、12月及び3月の年4回である。平成31年3月調査の調査期間は、平成31年3月5日から平成31年3月31日である。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは47.1となった。平成30年12月調査（以下、「前回調査」という。）より0.7ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

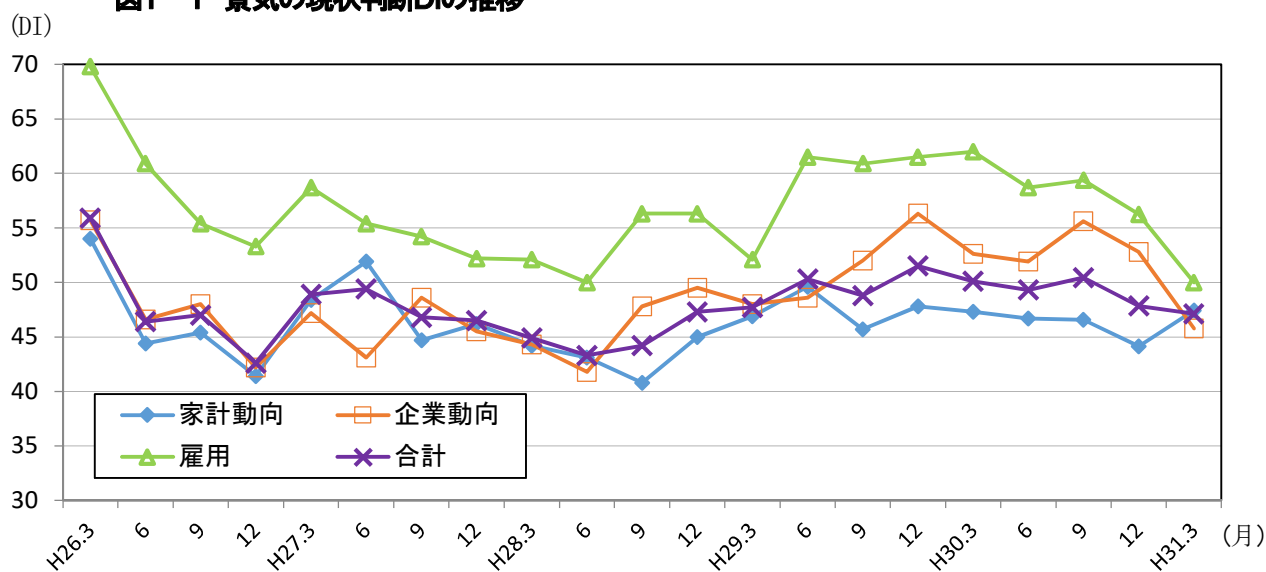
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月				
	平成30年 3月	平成30年 6月	平成30年 9月	平成30年 12月	平成31年 3月
合計	50.1	49.3	50.4	47.8	47.1
家計動向関連	47.3	46.7	46.6	44.1	47.4
小売関連	48.5	44.9	44.8	42.0	44.3
飲食関連	47.8	45.7	42.4	42.4	47.8
サービス関連	43.8	47.8	47.7	46.1	50.0
住宅関連	66.7	52.8	62.5	47.2	46.9
企業動向関連	52.6	51.9	55.6	52.8	45.8
農林水産業	46.9	59.4	56.3	50.0	40.6
製造業	51.0	52.6	57.3	51.6	43.1
非製造業	56.5	49.3	53.0	55.1	50.7
雇用関連	62.0	58.7	59.4	56.3	50.0

表1-2 回答構成比

	平成30年 3月	平成30年 6月	平成30年 9月	平成30年 12月	平成31年 3月
良くなっている	2.5%	2.8%	3.5%	2.8%	1.4%
やや良くなっている	22.8%	18.1%	19.1%	17.0%	17.4%
変わらない	51.9%	56.6%	57.6%	54.7%	54.7%
やや悪くなっている	18.2%	18.8%	15.3%	20.1%	21.3%
悪くなっている	4.6%	3.8%	4.5%	5.5%	5.2%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは48.0となった。前回調査より1.5ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

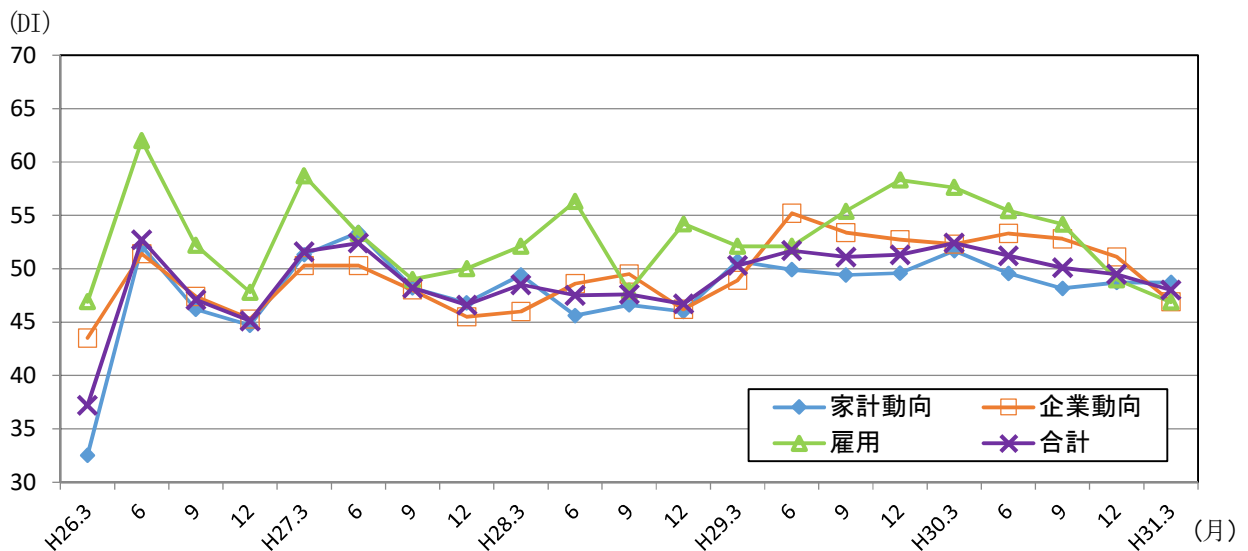
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	平成30年 3月	平成30年 6月	平成30年 9月	平成30年 12月	平成31年 3月
合計		52.4	51.2	50.1	49.5	48.0
家計動向関連		51.7	49.6	48.1	48.7	48.7
小売関連		48.9	50.0	46.6	46.6	48.9
飲食関連		54.3	45.7	40.2	46.7	42.4
サービス関連		52.0	48.4	50.0	49.0	51.6
住宅関連		63.9	66.7	65.6	66.7	37.5
企業動向関連		52.3	53.3	52.8	51.1	46.9
農林水産業		53.1	56.3	43.8	50.0	53.1
製造業		52.1	53.6	52.1	50.0	44.7
非製造業		52.4	52.2	56.1	52.9	48.5
雇用関連		57.6	55.4	54.2	49.0	46.9

表1-4 回答構成比

	平成30年 3月	平成30年 6月	平成30年 9月	平成30年 12月	平成31年 3月
良くなっている	2.1%	1.0%	2.4%	3.1%	2.4%
やや良くなっている	25.6%	22.9%	18.1%	17.0%	18.1%
変わらない	56.1%	58.3%	60.1%	57.8%	52.3%
やや悪くなっている	11.9%	15.3%	16.3%	19.0%	23.3%
悪くなっている	4.2%	2.4%	3.1%	3.1%	3.8%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは40.9となった。前回調査より7.8ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成30年	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		50.0	51.3	50.0	48.7	40.9
家計動向関連		47.1	43.9	46.4	41.2	40.7
企業動向関連		55.3	61.8	55.3	60.5	39.5
雇用関連		50.0	62.5	56.3	56.3	50.0

表2-2 回答構成比

	平成30年	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年
	3月	6月	9月	12月	3月
良くなっている	1.8%	3.6%	1.7%	5.3%	0.0%
やや良くなっている	26.3%	17.9%	22.4%	19.3%	10.3%
変わらない	45.6%	60.7%	53.4%	45.6%	53.4%
やや悪くなっている	22.8%	16.1%	19.0%	24.6%	25.9%
悪くなっている	3.5%	1.8%	3.4%	5.3%	10.3%

② 県央地域

景気の現状判断DIは52.6となった。前回調査より5.1ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成30年	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		47.9	49.2	53.0	47.5	52.6
家計動向関連		44.9	48.0	49.3	44.2	52.0
企業動向関連		46.9	46.9	59.4	51.7	51.7
雇用関連		81.3	65.0	60.0	60.0	60.0

表2-4 回答構成比

	平成30年	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年
	3月	6月	9月	12月	3月
良くなっている	3.4%	5.1%	10.3%	3.4%	3.4%
やや良くなっている	18.6%	16.9%	17.2%	16.9%	27.6%
変わらない	49.2%	50.8%	50.0%	47.5%	46.6%
やや悪くなっている	23.7%	23.7%	19.0%	30.5%	20.7%
悪くなっている	5.1%	3.4%	3.4%	1.7%	1.7%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは46.5となった。前回調査より2.6ポイント低下し、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成30年 3月	平成30年 6月	平成30年 9月	平成30年 12月	平成31年 3月
合計		55.5	51.3	47.8	49.1	46.5
家計動向関連		51.5	49.2	44.7	48.5	49.2
企業動向関連		62.5	54.2	50.0	50.0	43.4
雇用関連		60.0	55.0	60.0	50.0	40.0

表2-6 回答構成比

	平成30年 3月	平成30年 6月	平成30年 9月	平成30年 12月	平成31年 3月
良くなっている	3.6%	3.6%	0.0%	1.8%	0.0%
やや良くなっている	32.7%	17.9%	14.0%	17.5%	15.8%
変わらない	45.5%	60.7%	66.7%	61.4%	57.9%
やや悪くなっている	18.2%	16.1%	15.8%	14.0%	22.8%
悪くなっている	0.0%	1.8%	3.5%	5.3%	3.5%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは50.9となった。前回調査より0.9ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成30年 3月	平成30年 6月	平成30年 9月	平成30年 12月	平成31年 3月
合計		50.9	47.9	53.9	50.0	50.9
家計動向関連		48.6	46.5	49.3	46.4	52.9
企業動向関連		52.9	50.0	59.7	55.6	51.4
雇用関連		60.0	50.0	65.0	55.0	35.0

表2-8 回答構成比

	平成30年 3月	平成30年 6月	平成30年 9月	平成30年 12月	平成31年 3月
良くなっている	1.8%	0.0%	1.7%	0.0%	3.4%
やや良くなっている	21.1%	20.0%	24.1%	15.5%	15.5%
変わらない	59.6%	56.7%	65.5%	70.7%	62.1%
やや悪くなっている	14.0%	18.3%	5.2%	12.1%	19.0%
悪くなっている	3.5%	5.0%	3.4%	1.7%	0.0%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは44.6となった。前回調査より0.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を20期連続で下回った。

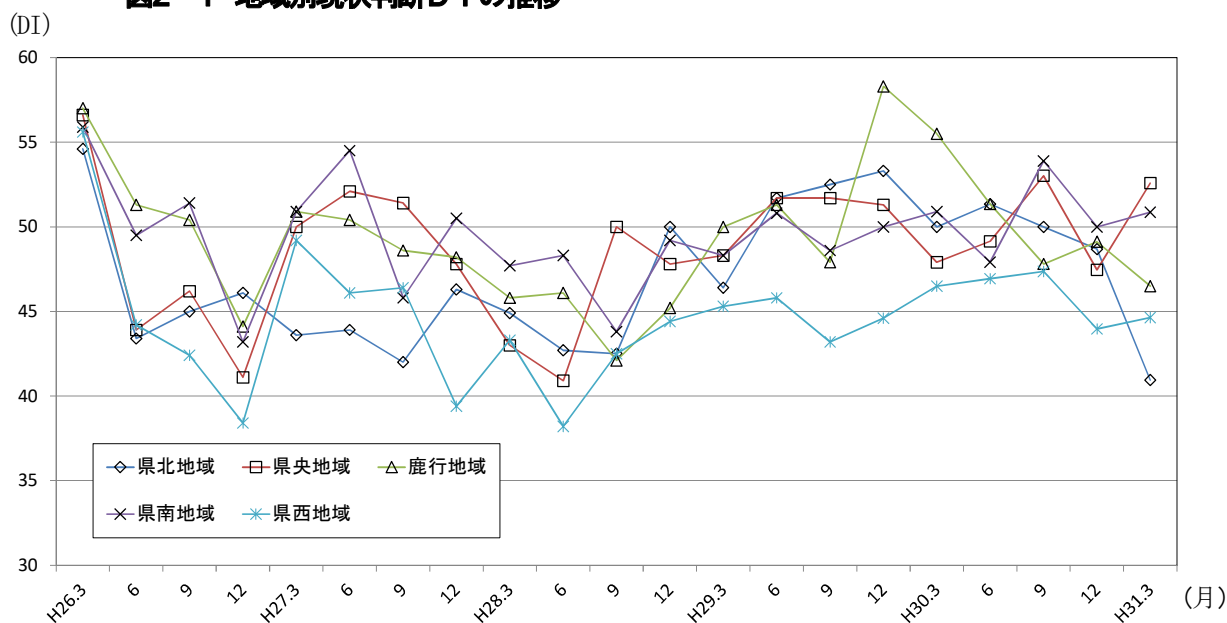
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成30年 3月	平成30年 6月	平成30年 9月	平成30年 12月	平成31年 3月
合計		46.5	46.9	47.4	44.0	44.6
家計動向関連		44.7	45.6	42.9	40.4	41.7
企業動向関連		46.1	46.1	54.4	46.1	44.4
雇用関連		60.0	62.5	55.0	60.0	65.0

表2-10 回答構成比

	平成30年 3月	平成30年 6月	平成30年 9月	平成30年 12月	平成31年 3月
良くなっている	1.8%	1.8%	3.5%	3.4%	0.0%
やや良くなっている	21.1%	17.5%	17.5%	15.5%	17.9%
変わらない	59.6%	54.4%	52.6%	48.3%	53.6%
やや悪くなっている	14.0%	19.3%	17.5%	19.0%	17.9%
悪くなっている	3.5%	7.0%	8.8%	13.8%	10.7%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	26.3	26.6	26.9	26.12	27.3	27.6	27.9	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	29.9	29.12	30.3	30.6	30.9	30.12	H31.3月
県全体	55.9	46.4	47.0	42.6	48.9	49.4	46.8	46.5	44.9	43.3	44.2	47.3	47.7	50.3	48.8	51.5	50.1	49.3	50.4	47.8	47.1
県北	54.6	43.4	45.0	46.1	43.6	43.9	42.0	46.3	44.9	42.7	42.5	50.0	46.4	51.7	52.5	53.3	50.0	51.3	50.0	48.7	40.9
県央	56.5	43.9	46.2	41.1	50.0	52.1	51.4	47.8	43.0	40.9	50.0	47.8	48.3	51.7	51.7	51.3	47.9	49.2	53.0	47.5	52.6
鹿行	57.0	51.3	50.4	44.1	50.9	50.4	48.6	48.2	45.8	46.1	42.1	45.2	50.0	51.3	47.9	58.3	55.5	51.3	47.8	49.1	46.5
県南	55.9	49.5	51.4	43.6	50.9	54.5	45.8	50.5	47.7	48.3	43.8	49.2	48.3	50.8	48.6	50.0	50.9	47.9	53.9	50.0	50.9
県西	55.6	44.2	42.4	38.4	49.2	46.1	46.4	39.4	43.3	38.2	42.5	44.4	45.3	45.8	43.2	44.6	46.5	46.9	47.4	44.0	44.6
全国	57.9	47.7	47.4	45.2	52.2	51.0	47.5	48.7	45.4	41.2	44.8	51.2	50.6	49.9	49.6	53.9	51.7	48.2	47.3	48.2	46.7(原数値) 44.8(季節調整値)
	54.1	47.9	49.2	45.0	49.5	51.4	48.8	47.9	42.9	41.8	46.2	49.9	48.4	50.6	50.9	52.9	49.6	48.8	48.3	46.8	

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは43.5となった。前回調査より6.5ポイント低下し、横ばいを表す50を8期ぶりに下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成30年	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		51.8	50.0	50.9	50.0	43.5
家計動向関連		49.3	47.0	50.7	45.6	41.4
企業動向関連		56.6	56.6	51.3	57.9	46.1
雇用関連		50.0	43.8	50.0	50.0	50.0

表2-12 回答構成比

	平成30年	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年
	3月	6月	9月	12月	3月
良くなっている	0.0%	0.0%	3.4%	5.3%	0.0%
やや良くなっている	24.6%	21.4%	17.2%	17.5%	13.8%
変わらない	61.4%	58.9%	60.3%	54.4%	53.4%
やや悪くなっている	10.5%	17.9%	17.2%	17.5%	25.9%
悪くなっている	3.5%	1.8%	1.7%	5.3%	6.9%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは54.3となった。前回調査より3.5ポイント上昇し、横ばいを表す50を5期連続で上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成30年	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		53.8	50.8	53.9	50.8	54.3
家計動向関連		52.6	49.3	50.7	53.2	58.6
企業動向関連		51.6	50.0	60.9	46.7	46.7
雇用関連		75.0	65.0	55.0	45.0	45.0

表2-14 回答構成比

	平成30年	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年
	3月	6月	9月	12月	3月
良くなっている	3.4%	3.4%	5.2%	5.1%	5.2%
やや良くなっている	30.5%	23.7%	24.1%	20.3%	32.8%
変わらない	47.5%	49.2%	53.4%	47.5%	37.9%
やや悪くなっている	15.3%	20.3%	15.5%	27.1%	22.4%
悪くなっている	3.4%	3.4%	1.7%	0.0%	1.7%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは49.1となった。前回調査より0.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成30年	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		56.8	51.3	50.4	48.7	49.1
家計動向関連		55.9	50.8	49.2	47.0	50.0
企業動向関連		59.4	52.8	52.6	52.6	50.0
雇用関連		55.0	50.0	50.0	45.0	40.0

表2-16 回答構成比

	平成30年	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年
	3月	6月	9月	12月	3月
良くなっている	5.5%	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%
やや良くなっている	25.5%	21.4%	15.8%	15.8%	17.5%
変わらない	60.0%	58.9%	66.7%	63.2%	57.9%
やや悪くなっている	9.1%	16.1%	14.0%	14.0%	21.1%
悪くなっている	0.0%	1.8%	1.8%	5.3%	1.8%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは50.0となった。前回調査より2.2ポイント上昇し、横ばいを表す50となった。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成30年	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		53.5	51.3	51.7	47.8	50.0
家計動向関連		55.0	50.0	47.9	50.0	53.6
企業動向関連		51.5	52.6	55.6	41.7	45.8
雇用関連		50.0	55.0	65.0	55.0	40.0

表2-18 回答構成比

	平成30年	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年
	3月	6月	9月	12月	3月
良くなっている	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	5.2%
やや良くなっている	24.6%	18.3%	19.0%	17.2%	13.8%
変わらない	61.4%	70.0%	69.0%	60.3%	56.9%
やや悪くなっている	10.5%	10.0%	12.1%	19.0%	24.1%
悪くなっている	1.8%	1.7%	0.0%	3.4%	0.0%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは42.9となった。前回調査より7.1ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

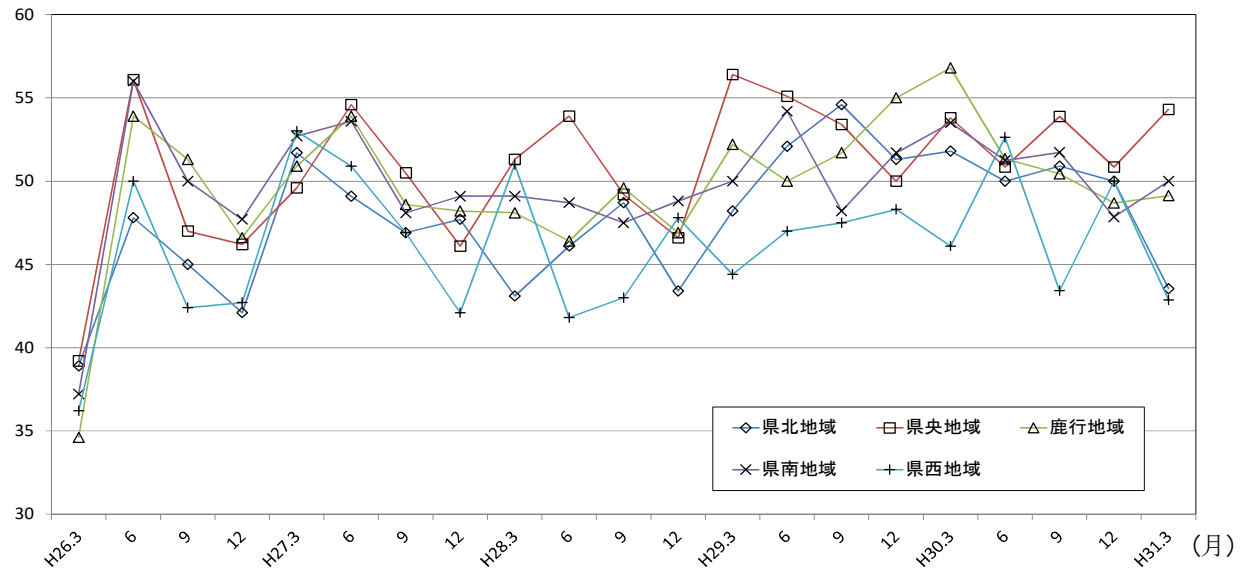
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成30年	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		46.1	52.6	43.4	50.0	42.9
家計動向関連		45.5	50.7	42.1	47.1	38.6
企業動向関連		43.4	53.9	44.1	55.3	45.8
雇用関連		60.0	62.5	50.0	50.0	60.0

表2-20 回答構成比

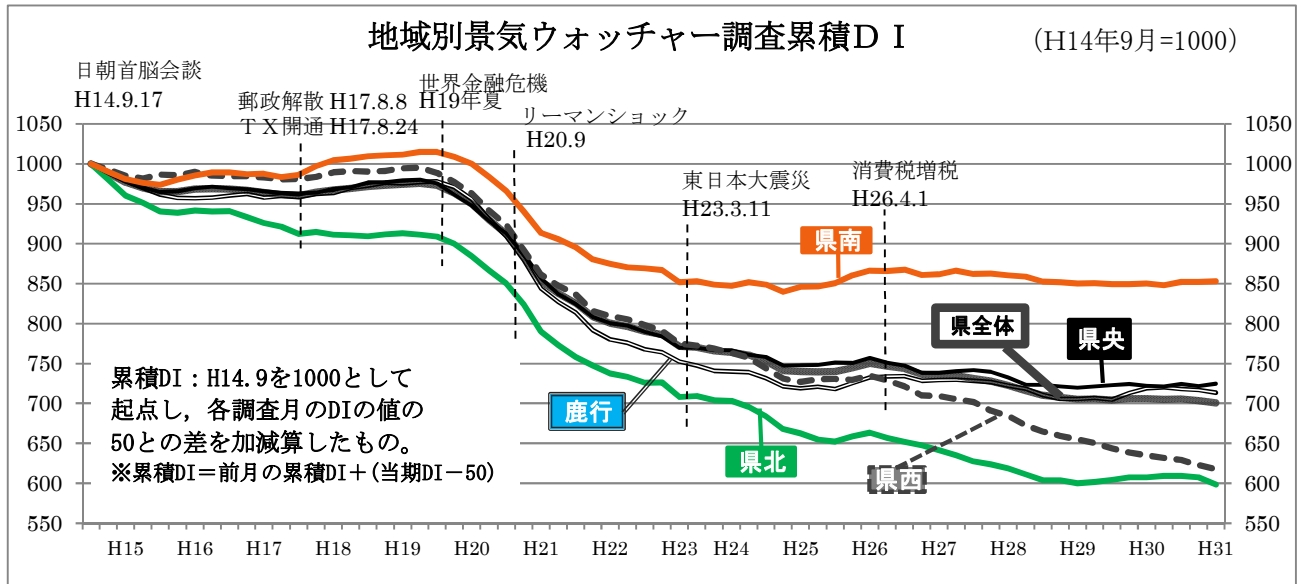
	平成30年	平成30年	平成30年	平成30年	平成31年
	3月	6月	9月	12月	3月
良くなっている	0.0%	0.0%	1.8%	3.4%	0.0%
やや良くなっている	22.8%	29.8%	14.0%	13.8%	12.5%
変わらない	50.9%	54.4%	50.9%	63.8%	55.4%
やや悪くなっている	14.0%	12.3%	22.8%	17.2%	23.2%
悪くなっている	12.3%	3.5%	10.5%	1.7%	8.9%

(DI) 図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	26.3	26.6	26.9	26.12	27.3	27.6	27.9	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	29.9	29.12	30.3	30.6	30.9	30.12	H31.3月
県全体	37.1	52.7	47.1	45.1	51.6	52.4	48.2	46.6	48.5	47.5	47.6	46.7	50.3	51.7	51.1	51.3	52.4	51.2	50.1	49.5	48.0
県北	38.9	47.8	45.0	42.1	51.7	49.1	46.9	47.7	43.1	46.1	48.7	43.4	48.2	52.1	54.6	51.3	51.8	50.0	50.9	50.0	43.5
県中央	38.9	56.1	47.0	46.2	49.6	54.6	50.5	46.1	51.3	53.9	49.2	46.6	56.4	55.1	53.4	50.0	53.8	50.8	53.9	50.8	54.3
鹿行	34.6	53.9	51.3	46.6	50.9	53.9	48.6	48.2	48.1	46.4	49.6	46.9	52.2	50.0	51.7	55.0	56.8	51.3	50.4	48.7	49.1
県南	37.2	56.0	50.0	48.2	52.7	53.6	48.1	49.1	49.1	48.7	47.5	48.8	50.0	54.2	48.2	51.7	53.5	51.3	51.7	47.8	50.0
県西	36.2	50.0	42.4	42.7	53.0	50.9	46.9	42.1	51.0	41.8	43.0	47.8	44.4	47.0	47.5	48.3	46.1	52.6	43.4	50.0	42.9
全国	34.7 33.5	53.3 52.3	48.7 50.0	46.7 47.8	53.4 52.8	53.5 52.7	49.1 50.0	48.2 49.2	46.7 46.6	41.5 40.8	48.5 49.2	49.0 50.0	49.0 49.3	51.5 50.8	50.4 50.8	51.3 52.2	50.1 50.6	50.9 50.3	50.7 51.0	47.0 47.9	47.9(原数値) 48.6(季節調整値)

(参考) 地域別累積DI



III 景気の判断コメント — 1 景気の状態判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	受注している工事の量が増えている。
		小売業 (弁当・惣菜店)	平日の人の動きが増えたようだ。
		ラーメン店	餃子の製造販売が徐々に良くなってきている。ラーメン店では、夜が弱く、一度遅い時間まで営業するか検討中。那珂市の特産品ブランド認証を獲得したりと、今後のラーメン店の売上げ上昇を期待。
		スナック	外食やテーマパークに出掛ける人が増えていると思う。
		ラーメン店	食事の注文の際、値段にこだわらずに注文される方が多くなっているように感じる。
企業	製造業 (食料品)	引き続き高額品も好調。資材値上げは続くものの、価格改定も進んでいる。	
変わらない	家計	スーパー	毎日精一杯頑張ってるやっと同じ。
		酒・各種商品小売業	購入予定ではないものを買う衝動買いがあまりないため、お客様の財布の紐は固いと感じている。
		小売業 (燃料)	燃料の販売数量、お客様の様子も特段の変化はない。
		小売業 (水産物)	お客様の集客数が横ばい。売上げも伸びない。
		小売業 (時計)	収入面での上向きが考えられない状況が続くと思われる。
		レストラン	売上げに変化が無い。
		食堂	日常の会話から、食費が高くなってきて、野菜も高くなり、皆様がいかんして安い物を買うかと自転車で走っており、上下の差があまりにも違う。
		観光型ホテル	客単価も人数もあまり変化が無い。
		観光型ホテル	3か月前と何ら変わらない。
		旅行代理店	集客状況に特別変化がない。
		レジャー施設	特に目立ったことがない。
		ゴルフ場	客の人数は増えているが、客単価は下がっている。売上げは現状維持している。
		ゴルフ場	景気が変わっている兆候が見られない。
		ボウリング場	年度末を迎え、個人・団体を問わず利用客が多い時期に入った。平日は学生、週末は家族連れや団体客が中心であるが、通常料金から割引されたバックコースを利用するお客様の割合が高く、利用ゲーム数が多い割に売上げが思っているより伸び悩んでいる。景気判断としては以前と大きく変わらない。
写真店	まず良くなっているという会話がお客様から出ない。消費税が上がることで家計にどう響くだろうかということは話題にでている。		
住宅販売会社	特段、来場も増えている様子もなく、購入意欲が上がっている様子もない。		

変わらない	企業	林業関係者	大きな変化は見られない。
		製造業（電気機械器具）	操業時間に変動がない。
		製造業（電気機械器具）	特に変わった傾向は見られません。
		製造業（化学工業）	景況の良い業種もあれば悪い業種もある。総じて変わらないと思う。
		製造業（輸送用機械器具）	2月新車販売は前年比1.2%増で2か月連続のプラスとなった。また、北米並びに中国での全体の販売は減少しているものの、品質面や電動化において日本人の人気は強く、売れ行き好調のようであるが、目の前の生産に大きな変化は見られない。依然としてワーカーの人手不足は継続しており、派遣者を含めた売り手市場が継続している状況に変わりはない。
		建設業	金融関係の方や同業他社の方との会話から、景気が良くなっていると感じている方は少ないので、景気は変わっていないと思う。
		金融業	年末の資金需要期も大きな動きはなかったが、景気動向に変動はなく、資金需要は設備も含め活性化は感じられない。先行き不透明感が根強くあり、投資等にも停滞感がある。
		不動産業	お客様からの問合せ数や受注額に大きな偏差がない。
	運輸附帯サービス業	当社を取り巻く環境から、変化がないように思える。	
	雇用	求人広告	良い傾向、悪い傾向双方見受けられるが、総合すると大きな変化とは言えない。
		公共職業安定所	有効求人数、有効求職者の前3か月及び前年同月期を見ると多少の増減はあるものの、ほぼ変わらない状況となっている。有効求人倍率についても同様である。
		学校就業関係者	3か月前と比較する判断材料が無い。
		求人開拓員	当センターを利用する求職者数及び就職決定率に大きな変化は見られない。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	昨年対比でやや悪くなっている。
		スーパー	お客様数を見ても、トレンド的にも若干の減少が見られ、特に夜間の客数が下がっている。値引き商品を買に来るお客様が以前に比べ減っており、安くなっている商品でも、今までと違い、本当に必要かどうか判断して買っている様子が窺える。
		コンビニエンスストア	客数前年割れが継続して続いており、特に、工場周辺の店舗の客数前年割れが大きいことから、やや悪くなっているように感じます。
		衣料品販売店	客数が減少している。
		自動車販売店	来店者数の減少、問い合わせの減少から、やや悪くなっていると判断した。
		観光型ホテル	昨年同期と比較し、宿泊の売上げはほぼ横ばいであるが、日帰り宴会の売上げが減少している。全体の売上げも微減傾向であり、景気はやや悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	平成31年が変わって、お客様の利用が減っているように感じる。日々の売上げも少ない。
		タクシー運転手	企業の残業制限等で、帰宅時間が早くなり、飲食店等に流れるお客様がかなり減少しているのが現状です。残業手当の減少により、生活が苦しいとの声のお客様から多々聞かれます。以上より、景気はやや悪くなっていると判断しました。
		タクシー運転手	物価上昇によるお客様の減少から、やや悪くなっていると判断した。
		ゴルフ場	10月～12月の予約・来場者の実績は105%だった。1～3月の現在推移は82点となっている。特に、2月の異常気象の影響が大きかった。
企業	水産業関係者	大型GWを控えているせいか、景気的には控えめに感じる。	
	製造業（電気機械器具）	液晶・半導体製造装置関連や原子力関連の引き合いが少ない。	
	製造業（食料品）	昨年9月頃から売上げが低下しており、厳しい状態です。今後も当面良くならないと思われます。	
	製造業（一般機械器具）	若干ではあるが、生産量が前年度同月より下がっている。	
	運輸業	今は年度末なので輸送依頼も減っている。	
悪	家計	小売業（酒類）	アルコール飲料離れやお客様の高齢化が進み、来店客数の減少が例年にないほど厳しく感じる。決して景気が良いとは思えない。
		タクシー運転手	夜間のタクシー利用が減少（12月から激減）した。企業の節約規制が強化され、接待、各種懇親会等の自粛ムードが高まる。飲食店閉店が目立つ。
		ドライブイン	増税やキャッシュレスに対応する講習が多くなってきた。客足が鈍いのはこの時期いつものことだが、消費者の財布の紐は固い様子。
		美容室	売上げが下がっている。
	企業	製造業（電気機械器具）	第4四半期は、中国向け案件の減少により鈍化した。
製造業（精密機器）	車関係の量産が減っており、また、半導体の部品も減っています。全体的には1割位減っています。		

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	企業	製造業(一般機械器具)	1年近く良くなっている。このまま続けたい。	
		製造業(精密機械器具)	自社製品の受注, OEM製品の発注と, これまでにない高い数字となっております。これにより, 受注残高も増加しています。	
やや良くなっている	家計	百貨店	今月の前年比と3か月前の前年比を比べると, 今月のほうが伸び率が大きい。	
		スーパー	お客様の商品購入数が年末から増えてきたことで客単価が上がっている。	
		スーパー	年末は気温が高めで重衣料の動きが鈍かったが, 年が明けてから気温も下がり少し盛り返したので, 相対的に良くなった。	
		楽器販売	高額品に限らず, 細かく売れるようになってきた。	
		レストラン	国体やオリンピック関係でホテル利用の相談が増えてきている。	
		都市型ホテル	宿泊稼働が若干増加した。	
		バス運転手	大学入試において, 新しい学部が出来て, 学生さんが多かった気がする。	
		タクシー会社	人の流れが活発に動いているように見えます。特に, 水戸駅・勝田駅をご利用のお客様が増加しており, 前年比118%の稼働があり, その70%が県外からの顧客です。法人関係の顧客が多く, 観光での一般客も増加傾向にあります。県内既存のタクシー利用者は, ほぼ変化なく推移している状況から, 全体的に上昇傾向にあるものと判断します。	
		観光名所	通常, 売上げが落ちる時期なのだが, 今月は例年と比較しても売上げが増加している。また, 若干ではあるが, 外国人のお客様も徐々に増えてはきているので, インバウンドには期待している。	
		レジャー施設	大洗町で実施されたイベントに多くの来場者がいらっしやいました。出店やグッズの売店にも沢山の方がいたことから景気はやや良くなっていると思います。	
		ペット美容室	季節要因が大きいですが, やや良くなっていると判断した。	
		建築設計事務所	引き合いが増えている傾向である。	
		企業	運輸業(道路貨物運送業)	機能樹脂の動きが活発である。
			工務店	お客様からの仕事の依頼や見積りの依頼が増えている。
雇用	人材派遣業	受注が増え, 売上げも伸びている。		
	公共職業安定所	当所管内では, 有効求職者数は平成24年4月から82か月連続で前年同月を下回り, 有効求人数は平成29年2月から24か月連続で前年同月を上回っていることから, 有効求人倍率は2.01倍と71か月連続で前年同月を上回っている。先行きの不透明感から契約社員やパート社員の募集で様子を見ていた事業所からも新たに正社員求人を受理するなど, 好調な業績を背景に長期的な雇用を検討し始める事業所が増えている。		
変わらない	家計	商店街代表者	水戸市役所の庁舎が移転してゴム印の受注があった。官庁関係の受注も少し多い様に思う。しかし, 個人の消費が伸びていない。実印・銀行印の商談で3000円位の印鑑から薦めると, 高級品はいらない, 1000円位で十分というお客様が多い。従って, 変わらなかった。	
		百貨店	アイテムによっては, やや良くなってきているものもあるが, 全体としてみると, まだまだ上向きとは言えない。お買物は相変わらず慎重である。	
		コンビニエンスストア	たばこ増税による若干の売上げ・客単価増となっているが, 全体としては大きな変化はない。ただし, 前年同時期に比べると売上げ・客数共に増加している。	
		小売業	販売状況に著しい変化が見受けられない。	
		農産物直売所	売れ筋のギフトの価格・数量は平年並み。飲食の客数も横ばい。	
		レストラン	歓送迎会の時期に入り, 予約等も例年通りの動きは見せているが, 客単価等を見ても変わらない。	
		都市型ホテル	現在の予約状況, 利用状況を見る限り, 前年を下回っているが, 予測範囲内と思う。	
		観光型ホテル	昨年秋ごろから弱含みで推移している状況に変わりはない。	
		旅行代理店	会社状況, 取引先, 顧客の話, 申し込み状況を対前年同時と比べると, 変わらない。	
		旅行会社	バスの予約数が変わらなかったため, 売上げが良くない。	

変 わ ら な い	家計	タクシー運転手	大きな変動はないと考えています。ただし、借楽園などへの観光客が増えているので、やや悪くなっている状況を少しだけ改善させ、変わらない状態になっています。
		タクシー会社	1日当たりの営業回数にあまり変動が見られない。
		ドライブイン	景気がと言われると、良い話も悪い話も無く、これから先の消費増税でどうなるのかということが気になります。
		レジャー施設	直近2か月は、雪の影響等もあるが前年比で利用者が減少しているため、景気は3か月前と変わらない気がする。
	企業	製造業(食料品)	「国の統計が正しくない」がその通りに感じます。
		製造業(印刷・同関連業)	ユーザーさんと商談する上で、特段変わらないとのことでした。
		製造業(窯業・土石製品)	相変わらず低調である。
		製造業(金属製品)	昨年の夏以降フル稼働状態が続いている。受注残もしばらく先まで残っている。
		建設業	生活の場に景気上向き感が認められない。
		金融業	景気は回復している等の報道がありますが、当組合取引先の中小企業のお客様については、特段の変化は無く、全体として消費意欲及び景気が上向いているようには感じられません。
	雇用	不動産業	時期的なもので来客数は増えているが、単価は3か月前と変わりはないため、変わらないと判断する。
		求人広告	特にそういう話は聞かない。
		学校就業関係者	企業からの求人及び求人についての問い合わせが増加している。しかし求人情報の大学生給与単価については変動がないため、人手不足と雇用の実態とのアンバランス感がある。
や や 悪 く な っ て い る	家計	求人開拓員	事業所からの求人は、件数・人数共に大きな変化は見られない。施設利用の求職者人数は2月度以降増加の状況にあるが、これは年度変わりの季節要因と思われる。
		商店街代表者	年度末の繁忙期ですが、取引先の担当者の多くが、忙しいだけで売上げが良くないとやっているし、自分もそう感じます。
		スーパー	客数が前年割れしている。
		スーパー	いろいろな物の値上げが続いており、消費者の節約ムードが高まっている。余計な物は買わなくなってきた。
		スーパー	商品購入点数が少なくなっている。また、商品の単価も意識して購入されている様子がうかがえる。
		割烹料理店	3か月前は飲食業界は忘年会シーズンでした。
		ゴルフ場	3月は期末月という季節要因と好天に恵まれ来場客数の増加はあるものの、若者の娯楽レジャーの多様化によるゴルフ離れの傾向から、来場客数は伸び悩みの状況にあります。また、ゴルフ場自体も二極化が進む一方で、来場客のゴルフ場選別志向も強くなっていると感じられます。そうした中で、ビジター来場客割合に若干の減少傾向が見られます。
		スパ・銭湯	年末年始の長期休暇による遠方の旅行及びレジャーが増加して大きく消費した分、地場のレジャー企業においては、売上げが上がらず、ため息をついている企業は多いのではないのでしょうか。
		理・美容店	年末に来店していただいたお客様が戻って来ていない。寒さのせいもあるかも知れない。
		住宅販売会社	政府からの消費増税対策により、まだ先でも良いという判断のお客様が増えた。3か月前は、そのような情報が出始めたころであったため、建築意欲が高い方が多かったように思う。
	企業	農業関係者	農家は農閑期であり、農作物などの出荷も少なく収入はあまりない。商工関係も観光客等も少なく、収入は少ないと思う。
		製造業(食料品)	観梅客の購買動向から、やや悪くなっていると判断した。
		サービス業(広告業)	すでに消費増税に対するけん制の動きがあり、物販も振るわず、販促広告出稿が増えてこない。
悪	家計	製造業(印刷・同関連業)	売上げ減や資材高騰等から、悪くなっていると判断した。

(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	—	—	
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	最近フック付きお菓子のようになり、値段は変わらないが量目の少ないキャンディ、チョコ、スナックがコンビニでもたくさん納品されている。このことから、値段、量を問わず機能を重視しているお客様が多いと見受けられ、景気はやや良くなっていると思う。	
		観光型ホテル	予約者数が少し増えている。	
		タクシー会社	売上げが多少伸びている。	
		都市型ホテル	企業の定期修理が5月に始まるのですが、早めに作業される企業の方がいます。宿泊客も増えています。	
		ゴルフ場	雨・雪などロスが発生した月ではあるが、予約推移は非常に好調だった。シニア層の動きが好調。	
	企業	クリーニング店	10月から消費税が10%になるにあたって、金額の大きい住宅・車・機械（トラクター・コンバイン）を購入する人がいる。	
		保険業	40歳前後の人達が新築の家を建てている。	
		サービス業	大規模ではないが、鹿行地区における各社工場の老朽化対応による設備投資が継続的に行われていることに加えて、現有構造物の腐食対策等への投資が見受けられることによる。一方弊社のお客様についてもここ数年ご依頼いただいていたところから引き合いを頂くことが増えている。	
		変わらない	商店街代表者	管内の事業者へのヒアリングでは、総じて不変の回答が多い。
			スーパー	売上げ・客数共に前年と変わらず。
スーパー	野菜が、相場は例年並だが、昨年が異常な高値でその反動で一品単価が安く、売上げ不振。食肉は好調。水産は前年並み。トータルでは生鮮部門・ドライ部門とも売上前年比に大きな変化がない。			
コンビニエンスストア	特に良くなる要因がない。			
衣料品販売店	季節要因を除いてしまうと、特に変化が見られない。			
小売業（菓子類）	12月の売上げ対前年比と今月の対前年比がほぼ同じである。			
小売業（薬品店）	3か月という短期では、余程のことがないと差を感じるのには難しい。			
小売業（食品）	私の仕事は毎年1月～3月頃まで商品の動きはあまり良くないです。4月、5月の連休が過ぎると漁なども始まり、動き出します。			
和食レストラン	客単価、売上げともほぼ横ばいであり、大きな変化はない。			
洋食食堂	売上げ・客数共にあまり変わらない。 昨年の3月は開店以来最高の売上げであったが、それを上回るのは大変かも知れません。			
割烹料理店	時期的に送別会などの予約が入るが、予約状況は多くない。			
観光型ホテル	予約状況をもても変わらないと思う。			
運転代行	予約状況を見て、変わらないと判断しました。			
ドライブイン	大きな変化はあまり感じない。			
ゴルフ場	時期的な売上げの差異は当然ありますが、付帯の売上げ等をみても特段景気が良くなったようには感じません。			
レジャー施設	お客様のご来店数、整備の件数などあまり変わらない。			
住宅販売会社	増税の駆け込みもほんの少ししか感じておりません。お客様からも特に感じません。			
住宅販売会社	変化が無い。			

変わらない	企業	製造業（鉄鋼業）	3か月前と比べ購買人数は増加しているが、購買単価に変動は見られない。
		製造業（食料品）	原材料・経費高で利益が確保できない。
		製造業（食料品）	全体の景気低迷の中で、たまたま好調な業種があったとしても、働き方改革で労働時間規制があり、せっかくの好機を活かせない社会システムになっている。
		製造業（鉄鋼業）	良くも悪くもない状況が続いている。
		建設業	好景気と言われて久しいですが、好景気の様子が見えません。
		建設業	建築業界活況が無い。中小工務店が仕事を受注出来ない。
		運輸業（道路貨物運送業）	実感が無い。
		金融業	変わらないが、活気が若干減ってきていると感じる。
		不動産業	悪くなっている感じは無いが、良くなっているとは思えない。
		火力発電所	例年並みの販売量である。
雇用	民間職業紹介業	求人企業からの求人は依然多いものの、求職者は少ないことにより、相変わらずマッチングが難しい状況が続いている。	
	公共職業安定所	求人倍率は横ばいである。	
	学校就業関係者	昨年同時期に比べても、相変わらず学生の求人状況は良好で、変化が感じられない。	
やや悪くなっている	家計	農産物直売所	客数が、完全に減っている。同業者からも同じ意見を耳にする。
		農産物直売所	野菜が安くなっており、客単価が下がり、集客数も減っている。
		タクシー運転手	国は、景気が上向いていると言っているが、タクシー業としては悪い方向に行っているように思う。仕事の量が減っている。自分達で首を絞めている状態。値上げだけが対策ではないと思う。
		理・美容店	若い方の働く場所が無いせいか、高校卒業後、大学に行くと、地元に戻って働く場所が無い。
	企業	農業関係者	今冬の天候は雨が少なく、比較的気温も安定したため、農産物需要と供給にも影響した。農作物によっては販売単価も低単価に推移したため、昨年と比較すると良くなかった。
		製造業（化学工業）	当社業績が徐々に悪化。
		製造業（電気機械器具）	主たる製品である自動車部品の生産が鈍化している。
		製造業（金属製品）	10月予定の消費増税に関する値上げ、単位物品の減量化（数量を減少させる）など、課税10%に対する対応で目に見えない形の値上げもある。その割には全体の景気向上が無い。特に、企業活動では、対外貿易（米中、欧州）の影響は全業種にある。
		運輸業（道路貨物運送業）	3か月前の業績からダウン傾向にあり、前年比も横ばいである。
	雇用	内装工事業	活気が無く、家を建てようとする兆しが見えてこない。
人材派遣業		地元の大手製造業の状況が、あまり芳しくないためか、その親会社の影響、関係会社・関連会社も含めて負のスパイラルになりつつある感じです。神栖のコンビナート周辺も「人」のニーズが昨年より明らかに減ってきている。	
求人開拓員		景気は徐々にではあるが良くなっていると毎日のように報道されているが、求人開拓に伺い、コンビニ等の小売業者に話を聞くと、お客様の財布の紐は固くなり、24時間営業していると夜間の売上げの利益より従業員の給与等の経費の方が上回ってしまうとのこと。また、ポイント等を狙ってのネットでの購買により、客数が減少傾向にあるとのこと。	
悪	家計	小売業	来店客数が減っている。
		日本料理店	良い話を聞かない。医療関係の動きがあまり良くない。物価が上がり、動きが悪い。

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	洋食食堂	年金生活のご婦人方の習い事のグループのお集まりが多くなり、コーラス、楽器、絵画、中国語、その他のクラブに利用していただく空間がありますので、食事会のご予約が増えました。営業売上げも3年続きで伸びています。(仕入れ量はその分増えています。)
	企業	運輸業(倉庫業)	新規案件の問合せが多くなっている。
やや良くなっている	家計	スーパー	客数がアップしており、買上げ点数も伸びている。要因として、天候が良かった。
		旅行代理店	営業等で、企業訪問の時、以前よりは前向きなお話や業績が上向き傾向にあるというお話を伺うことが多いように思う。
		タクシー運転手	以前に比べて2割強の回数の伸びが見られ、コンスタントに売上げが良くなっている。
		タクシー運転手	お買い物にタクシーを利用する際、出先でタクシーを待たせて家まで帰るお客様が増えた。
		ゴルフ場	現在の予約状況と比べて明らかに上回っている。人数イコール景気とは言い難いが、活気が出ているのを感じる。
		テーマパーク職員	3か月前と比較してしまうと、屋外の施設のため、多少季節的要因が関係しているが、2017年、2018年の同時期と来場者の比較を行ったところ、2月などは2019年が20~30%増の傾向が見受けられる。弊施設の認知度が出てきたなどの要因もあるが、決して利用料が安いわけではない施設で利用者が増えているのは、景気は良い方ではないかと考えられる。また、この3か月の期間に、弊施設がある筑波山梅林では、「梅まつり」が開催され、施設利用者とは異なる観光のお客様が多く来られる中で、予約なしに飛び込みで急遽利用される方が大幅に増えた。事前に弊施設の内容や利用料金を知らない中で、興味や好奇心で利用に至るのは、世間的にも景気が良くなってきている判断材料にもなると考える。
	ボウリング場	ファミリー層の動きが良くなっていると感じる。	
	企業	農業関係者	懇親会に参加し、ホテルの方に聞いた話だが、以前より企業関係のパーティーが多くなっているらしい。
		建設業	3か月前は、当社職人だけで充分すぎる程の工事量であった。今月は年度末のため、工事量が増えるのは毎年のことである。しかし今年は、大きい工事は外注部分が多いので、当社職人だけで何とかできるのだが、応援の職人を頼んでいる状況である。民間工事は全て4月以降に延ばしているため、景気はやや良くなっていると思う。
	変わらない	家計	スーパー
家電販売店			売上げが良くなっていない。
スーパー			客数・客単価・買上げ点数ともに昨年と殆ど変化なし。
コンビニエンスストア			固定客が多いので変わらないと思う。
コンビニエンスストア			お客様の購入の様子は特に変わらないと思う。
小売業			営業実績推移からすると、3か月前より変動はない。新春セールは例年並み。福袋などは好調だった。
小売業(生花店)			新規出店・開店がほとんど無く、飲食店もランチタイムをやらなくなったところも出てきた。
ホームセンター			何の変化も感じません。
小売業(米穀)			昨年産(平成30年産)の縁故米の消費が進まず、一般家庭向けの売上げが悪いです。
和食食堂			前年実績と比較して、およそ変化なし。
都市型ホテル			宿泊状況は、景気による動きはほとんど無く、以前と変わらないと思われた。レストランは近隣のショッピングセンターが無くなって約2年が過ぎるが、こちらも3か月前と変わらず厳しい状況である。宴会も、獲得件数、単価も多少、月にもよるがあまり変わらなかった。以上のことから、3か月前と比較して変わらないと思いました。
都市型ホテル			宴会メニューや宿泊単価など、今までと変わらない状況。
タクシー運転手			タクシー利用客が一行に増加していない。チップが少なくなっている。企業先の利用が増加していない。
タクシー運転手			お客様が「変わらない」と言っていた。
サービスエリア			平成29年2月の茨城県内圏央道全通に伴い、常磐自動車道の交通量は減少傾向にあったが、平成30年6月に外環道が開通したことにより交通量は微増の傾向にあり、入館者も同様の傾向。各個人の購買意欲は相変わらず高い率を示しており、交通量の増加したエリアにおいては、それなりの売上げを示していることから、前回同様特段の景気の変化はないと判断した。
ゴルフ場			お客様の予約(特にコンペの開催)に例年との違いが感じられない。内容にも変動が少ない。
レジャー施設			昨年同時期と比べ、やや売上げが上向いているが、概ね同水準となっている。
理・美容店			特にお客様から変わった話もなく、良くも悪くもなっていない印象です。子どものカットを1000円カットで済ませている現状をみても、やはり変わらないと思う。
理・美容店	仮予約をするお客様が来ている。		
設計事務所	来客数、内容等変化がない。		

変 わ ら な い	企業	農業関係者	3月期（初旬まで）の来客数・客単価を今年度12月期からと比較すると、両者ともにやや減少傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（食料品）	3か月前と比べ、購買人数は増加しているが、購買単価に変動が見られない。
		製造業（食料品）	客数、客単価とも変わらない。
		製造業（非鉄金属）	自社の業績はやや悪くなっているが、一過性のものと判断していることから景気自体は悪くない。
		製造業（一般機械器具）	特に変化はない。
		建設業	リフォーム工事等は沢山ありますが、新築工事の物件がない。
		不動産業	良くなっている気配が感じられない。
	金融業	健康意識の高まりを反映して、フィットネスクラブの会員数が増加しており、24時間営業のフィットネスクラブの建設も増えてきているが、他業種においては大きな変動はない。建設工事業、土木工事業においては年度末の工事受注は例年並み。不動産部門も物件の動きに活発さはなく、自宅新築件数も横ばいの状態。飲食業も売上げや今後の例年通例の歓送迎会等の宴会などの予約もほぼ例年と同じ状況である。コンビニエンスストアは客層が固定されており、売上げは安定しているが、夜中の売上げは伸びず、人件費等の経費がかかる傾向にある。	
	雇用	求人広告	特に変化が見られない。
		学校就業関係者	業務の関係から、景気状況より雇用状況が指標となるが、3か月前も雇用状況が良く、現在も求人があることから、良い状況が続いている感じを受ける。
やや 悪	家計	スーパー	客数・売上高が前年比を割ってきている。
		家電販売店	ご来店いただくお客様の数などが減少している。
		農産物直売所	野菜の市況が安いので、消費者は直売所よりスーパーに流れている。そのため、客数、売上げは伸びない。
		日本料理店	3か月前の前年比を比べると、今月の前年比の伸び率はやや悪くなっている。
		寿司店	お客様の来店が少ない。常連客はよく来てくれるが、新しい客がほとんどない。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	当社は、中国経済の影響は直接は受けないのであまり関係ありませんが、関東では土木関係の人手不足が深刻になってきており、工事の遅れが見受けられます。話は変わりますが、12月から営業職の求人を全国の営業所で行っておりますが、関西地区の求職者がダントツに多くなっており、アンバランスになっているのではないかと感じます。
		製造業（窯業・土石製品）	大型の工事物件が少なくなってきている。
		建設業	見積依頼が減少しているので、先行きが不安である。
	雇用	人材派遣業	取引企業との契約期間満了が増えてきている。
		公共職業安定所	有効求人倍率は11月末（1.27倍）に対して、1月末（1.24倍）とわずかに減少している。
悪	-	-	

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	自動車販売店	今のところ新型車の効果が出ている。
		旅行会社	何となく良くなっているように思う。季節要因しか考えられない。
		タクシー運転手	客の利用率が上昇しているように見受けられる。
		ゴルフ場	60歳以上の来場者が増加。例年に比べて気温が高く、スポーツがしやすいという印象。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	新規案件が2件入り、操業率も上がっている。
		製造業（窯業・土石製品）	中国の加工メーカーが春節で長期休業中であり、この影響の余波による発注が予想より少ないながらも、何とか工場が稼働している状況です。欲を言えば、今の倍以上の注文を取りたいし、また、いただきたい。同業他社のうち、業態を同じくしている会社は、総じて仕事が少ない・無い様子です。
		製造業（電気機械器具）	受注増による人員増は一部の部門のみとなっている。
	雇用	人材派遣業	人材募集が増えた。
		求人広告	工場の誘致などで企業が進出する話が多くなった。その影響で工事の着工が多くなり、求人数も増えている。明るい話題が増えた気がする。
		求人開拓員	短期の仕事を探す人が少なくなり、期間のない契約の正社員等が見つかるまで、時間をかけて探す人が多い印象。今すぐ目の前にある仕事に飛びつき、賃金を得ることより希望に合うまで待つ方が多い。
変わらない	家計	商店街代表者	客単価が同じである。
		スーパー	客数、単価等、横ばいの状況です。
		衣料品販売店	一般的な来客が少なく、特に不満な声を聞くこともなかった。
		家電販売店	入店数の変化もない。
		農産物直売所	3か月前も青果物の価格が安かったが、現在も同じ。また、購入者も3か月前同様客単価が低い。
		ホームセンター	客数、客単価にほとんど変化が見られない。
		レストラン	昨年の11月、12月、今年の1月は良かったが、2月はその分売上げが随分落ちた。3月は毎年そのままなので変わらないと思う。
		タクシー会社	変化を感じない。
		ドライブイン	来店客との会話の中で景気の良い話が聞けない。
		ドライブイン	来店客数も例年とあまり変化なく、客単価も伸び悩んでいる。
		ゴルフ場	予約状況から、変わらないと判断。
		パチンコ店	数値的結果のもと、変わらないと判断。
		レジャー施設	大手企業、公務員等は分らないが、中小では何も変化がない。
変わらない	企業	商店街代表者	景気が回復・拡大し、「いざなぎ」越えとも言われているが、同時に物価も上昇しており、豊かさの実感が出来ない。
		建築設計事務所	実感のない「好景気」のまま。
		製造業（食料品）	良くなる要素が無い。
		製造業（金属製品）	受注量の増減が無い。
		建設業	特に変化を感じない。
雇用	金融業	サービス業（コンサルタント業）	各業種特段の変化は無い。
		公共職業安定所	新規求人の動向は臨時的募集の増加から、前年同月比で増加に転じたが、有効求人では減少に転じている。求職者動向も減少で推移していることから変化は少ないとみられる。
		学校就業関係者	求職者（学生）の初任給は上がっているが、生活必需品は値上がりしている。
やや悪くなっている	家計	スーパー	衝動買いが少なくなっている。価格を出さない商品の動きが悪い。
		コンビニエンスストア	来店客数については、減少傾向にあり、買い控えが発生しているような印象を受けます。
		飲食業	お客の来店が少なく感じる。
		理・美容店	45日の来店サイクルが60日近くまで長くなってきた。20～30代の収入が多くないため、単価も下降している。
		住宅販売会社	展示場の来場数が明らかに減少している。
	企業	農業関係者	野菜の相場が安い。野菜の相場が安いと貯金・購買意欲が低下する。
		製造業（印刷・同関連業）	印刷用紙の値上がりがあり、それを価格に反映できないでいる。
		製造業（輸送用機械器具）	輸出用の減産を見込んでいる。国内は変化なく堅調。派遣及び期間工の採用を手控えている。
		製造業（金属製品）	今年度の主な発注品（生産計画）が完了した感があり落ち着いた様子である。
		建設業	受注している仕事量の減少や材料の値上がりと労務単価の増加からやや悪くなっていると判断。
悪くなっている	家計	商店街代表者	今月2月より3か月前の12月の方が景気が良いのは当然。昔から「2、8月は悪い」が常識。本当に必要な最小限しか買ってもらえない日が続いている。
		製茶販売	何をもって良くなっていると言えるのか。こちらが訊きたい。みんな生活は出来ているが、生活するのはいっぱいいっぱいだと思う。
		日本料理店	宴会等の予約が少なくなっている。昼食等はスーパーなどで済ませる。会費も低く、若者は参加しないようだ。筑西市は人口も少なく、北、南、共に活気無い街である。
		旅行代理店	商品の値上げが著しく、給料はそのままというお客様がほとんどです。旅行参加者も少なく、出発できないくらい的人数です。値引きしたり、好条件に変えたりしてもなかなか増えない状況です。
		クリーニング店	寒暖差もあり、品物の動きが良くない。
		企業	製造業（化学工業）

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	小売業（時計）	期待を込めてではあるが、世界的な動向が良い方へ向いてくれればと思う。
		食堂	暖かくなり外に出る機会もでて、お金を落とすと思います。
		レジャー施設	今後3か月の間に、改元に伴う10連休があり、サービス業は全体的にやや景気が良くなると予想。併せて、改元に伴う特需も期待される。
		ゴルフ場	新しい時代の幕開けのにぎわいによる来場者が期待できる。例年の事業年度開始の4月1日現在の予約数は前年並みでスタートできそうである。
	企業	製造業（食料品）	今の好調な状況は継続する。国体等イベントの開催も控えている。
		製造業（電気機械器具）	短期的であるが、急激に操業が上がる。
運輸業		貨物の輸送依頼が増えてきている。	
雇用	求人開拓員	新規登録者数は前年に比べ増加の傾向にあるが、就職決定までの求職活動期間は短く、勤労意欲の向上がうかがえる。	
変わらない	家計	スーパー	年号の変更によるセールなどは行うが、どの企業も同じようなことは行うと思えて、日本全体としては、若干は微増すると思うが、当店としては結果的に変わらないと考える。
		酒・各種商品小売業	毎年のことではあるが、ゴールデンウィーク中、また、それ以降は忙しくなるが今年は10連休のため、さらに顕著になると思う。
		衣料品販売店	良くなる要素がない。
		自動車販売店	変わらないと判断しましたが、正直な所はわからないという感じです。増税を控え、消費者の動きが読み切れません。マスコミに左右されることも多く、静観しています。
		小売業（弁当・惣菜店）	各種の値上げ不安があるものの同等に推移すると思っている。
		小売業（燃料）	大きく変動する要因は見当たらない。
		小売業（水産物）	増税の話題が前より聞かれるようになった。様子を見ているお客様が多いように感じる。
		ラーメン店	分かりません。
		スナック	お金を使うより将来のためにとっておく人が多いと思う。
		ラーメン店	高齢者が多い地域なので、生活にはゆとりが見られる。
		観光型ホテル	オリンピックが近づかない限り変わらないと思う。
		旅行代理店	集客見通しで現状とさほど変わらない。ただし、団体（特に企業）において経費削減の傾向がみられ、やや悪くなる心配もある。
		タクシー運転手	企業城下町で受注生産量が低迷している。日立市は人口減少が著しい。残業退勤が激減してタクシー帰宅利用がなくなった。
		ゴルフ場	客単価の減少は変わらないが、売上げもほぼ前年並みと思われる。
		ゴルフ場	大きな動きはないように見受けられる。
		ボウリング場	4月下旬から5月上旬にかけての大型連休期間は、例年とは異なり、元号改元や土日祝日を含んだ完全10連休等のお祝いムードにより、業績は一定の上昇が予想されるものの、一過性のものに過ぎないため、3か月先の景気については、現状とさほど変わらないものと思われる。
		住宅販売会社	消費増税の駆け込みがないので、反動も少ないように思う。

変 わ ら な い	企業	林業関係者	大きな変化は見られない。
		製造業（電気機械器具）	特に変わった傾向は見られません。
		製造業（食料品）	昨年10月から最低賃金が上がっても、売上げには影響がありません。
		製造業（電気機械器具）	2019年度に入っても、現在と同じように中国向け製品に伸びる要因が薄い。
		製造業（一般機械器具）	忙しさには変わりが無い。
		製造業（輸送用機械器具）	3か月後は大きな変化は見られないと想定される。
		製造業（精密機器）	業種により差が出てくると思う。
		建設業	先行きについてもあまり変化はないという見方が多いので、景気は変わらないと思う。
		金融業	3か月先という短期的な周期では、変わらないという判断。地域を代表する企業（日立製作所関連企業）で特筆すべき事象の発生が無いことが前提ではある。
		不動産業	消費増税を控えているとはいえ、大きな盛り上がりはないのではないか。しかし、新元号発表や大型連休で一部関連業種は好転もある。
雇用	求人広告	全体的に景気の良し悪しが判断できるほど大きな変化はないように思う。	
	公共職業安定所	新規求人倍率は前3か月で2.26～2.55倍で推移しており、事業所の採用意欲も高い状態が続いている。	
やや悪 くな っ て い る	家計	商店街代表者	ゴールデンウィークの大型化により、観光地の観光産業、サービス業の業績は上がるかもしれないが、観光地ではない当地では住民が流出し、その分消費が落ち込むと思う。
		商店街代表者	顧客からの問合せが少なくなっている。
		スーパー	ちょっと油断すると落ちそうである。
		コンビニエンスストア	関連企業で特に良くなる情報がないことと、消費増税を控えていることからやや悪くなると予想しています。
		小売業（酒類）	景気が良くなるとは思えない。特に個人の物販業はやや悪くなるような気がする。
		レストラン	お客様の声や飲食店同士の話などから、やや悪くなっていると判断しました。
		観光型ホテル	昨年同期と比較し、宿泊予約はほぼ同等、日帰り宴会の予約が低調である。今年に入ってから、日帰り予約の減少が続いており、景気はやや悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	県北の工場が景気が良くならなければ、タクシー利用者も増えない。
		タクシー運転手	企業の残業制限等で、帰宅時間が早くなり、飲食店等へ流れるお客様がかなり減少しているのが現状です。残業手当の減少により、生活が苦しいとの声のお客様から聞かれます。以上のような状況が今後も続くと思われるので、景気は良くならないと思われる。
		写真店	学校アルバムを請け負っているが、新学期児童の人数が前年度より減少しているところが多く、さらに、なかなか値段を上げられないという問題があり、利益率は減少傾向と思う。
企業	水産業関係者	大型GWの影響として、主観では長すぎる休みであり、客商売サイドでは、人不足や仕入れの心配、産業面では生産の低下など見通しは良くない。	
	製造業（電気機械器具）	引き合いが少ない状況が当面続く見込みである。	
	製造業（化学工業）	変化する要因が見当たらないが、中国の景気減速の影響を受けるのではないかと考える。	
	運輸附帯サービス業	派遣先での作業減少や、ルネサスエレクトロニクススの帰休発表等不安要素が多くなってきている。	
雇用	学校就業関係者	何となくやや悪くなっていると思います。	
悪	家計	タクシー運転手	企業の大きな動きがあるようなので、先行き不安が広がっている。
		ドライブイン	消費者の財布の紐はより固くなっていると思う。高齢者ほど心配事が多く、ドライブに出掛けなくなっている。10連休が読めない。
		美容室	良くなる要素がない。
企業	製造業（精密機器）	全体的に減っており、新しい仕事の立ち上げも増えていますが、その伸びによっても変わりますので、良くなるのは先のような気がします。	

(2) 県央地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	スーパー	店舗改装予定のため、客数増が見込める。	
		ペット美容室	新年号に変わり、世間の動向が活気出すような気がする。また、それをメディア等の報道により国民の目や気がそそられていくことになると思う。	
	企業	農業関係者	お彼岸もあり直売所での花卉や野菜の出荷もあり、収入は増えます。また、陶炎祭(GW開催)もあり、観光客も多く訪れ商工関係は収入が増えると思います。	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	天皇即位関連(元号の変更など)の需要や消費税率UPの駆け込み需要があるのではと思います。	
		商店街代表者	元号が変わると印鑑屋の需要が増えると思う。	
		百貨店	消費税10%への増税前の駆け込み需要は必ずあるため、プラスになるが、増税後の回復までの期間がどれほどになるか心配。	
		スーパー	TPPの動向により他国から安い商品が入ってくることで、お客様の消費行動が上がってくるが、地場産業がどうなるかで変わってくると思う。	
		楽器販売	エンドユーザーが多種多様になってきている印象。一部の高額所得者のみの動きではなさそうに感じる。	
		レストラン	国体やオリンピック関係でホテル利用の相談が増えてきているので、具体的に申し込みまで入ると予測できる。	
		割烹料理店	元号が変わるので、新元号を記念した催しものや、グッズなどが出るので、少しの期間その盛り上げの影響で景気はやや上向くと思う。	
		都市型ホテル	前年より稼働が増加している。	
		バス運転手	国体、ゆめ大会の下見に来る人が多くなるので、やや良くなってくると思う。	
		タクシー運転手	今年は茨城国体もありますし、県央地域全体が明るい雰囲気包まれているように感じます。雰囲気は非常に大事だと思いますので、3か月先はやや良くなっていることを期待します。	
		タクシー会社	改元に伴う祝賀イメージや付随する諸業務によって、一時的であっても経済効果が期待される。	
		タクシー会社	県外よりの法人関係顧客並びに観光一般客の流れが続くものと判断しています。また、県内の既存顧客に加えて、子育て支援の充実を図ることで子育て家庭の顧客並びに高齢者支援の効果により、人の流れが活発化し景気動向が上昇するものと考えています。現行の良い傾向を維持させて、さらに向上を目指すためにお客様からの要望等を聞き改善を図り、積極的に景気向上の施策を進めていきます。	
		観光名所	単価の高い嗜好品を購入する傾向にあるので、これからオリンピックまではこのような状況が続くのではないかと思います。	
		レジャー施設	今後3か月先は、新天皇即位や大型連休等の影響から、やや良くなっているように感じる。	
		ゴルフ場	景気については、国内外の政治経済動向に左右されることが多々あるものと思われませんが、今後、改元や消費税引き上げに伴う施策実施や関連の需要等が控えており、より経済の活発化が予想される。	
		理・美容店	暖かくなり来店客が多くなることを期待を込めて願っています。忙しくなると思いますが。	
		企業	製造業(印刷・同関連業)	年号が変わり、新たなスタートを切ることで良くなると期待します。
			製造業(精密機械器具)	自社製品の受注が減少する心配もあるが、OEM製品に関しては、市場がほとんど海外向けなので、しばらくは継続するはずだ。
		雇用	人材派遣業	今後しばらくは受注増が続く。
		変わらない	家計	百貨店
スーパー	買い控えはあると考えられるが、食品は必需品のため、大きな変動は外的見えない限りあまりないと思う。			
コンビニエンスストア	インターネットの影響で新聞や雑誌の売上は減り続けているが、食料品の買い上げ点数、売上げは前年より増えている。			
小売業	景気動向を変化させると思われるような要因が現在のところ感じられない。			
自動車販売店	通常であれば、消費増税前なので少し上向きにならなければと考えられますが、今のところ、私たち業界の税金関係が不透明であるため、様子を見られているように感じられます。			
農産物直売所	予約の入りが平年並みである。			
レストラン	10日間のGWや株主総会の時期に入っていくが、現状のまま推移していくように思われ、景気が良くなるとは判断できない。			
観光型ホテル	ゴールデンウィークが10連休となり、集客増が予想されるが、前後の反動も考えられあまり変わらないと思う。			
旅行代理店	お客様の反応を見て、大きな変化は感じられません。			
旅行会社	バスの予約が入っていない。			
ドライブイン	この先それほど大きく変わる要素が感じられない。			
レジャー施設	燃料費等が再び上昇傾向にあり、先行き不透明のため、景気は変わらないと思います。			

変わらない	企業	製造業（食料品）	GWで海外旅行が伸び、国内は横ばいか減少だと思う。
		製造業（窯業・土石製品）	低調のまま推移すると思われる。
		製造業（一般機械器具）	新聞、テレビ等からしてあまり良くない。下降気味で不安である。
		建設業	国の施策から現状維持か弱者が今以上に増えるのか、不安感が見受けられる。
		運輸業（道路貨物運送業）	人手不足でトラックの稼働が落ちてきているようである。
		金融業	今後3か月程度では特段の変化は無きものと感じております。
	雇用	公共職業安定所	景気の先行指標である新規求人数は前年同月比で概ね増加傾向にある。今年の夏ごろまでに、当所管内においてスーパーやドラッグストアなど小売店の新規オープン予定が多く、また業績が好調な製造業では工場を新築・増築中のところもあり、それら事業拡大に伴う求人が出てくることが予想され、採用活動はますます活発になるとと思われる。ただし、人手不足のため生産調整を余儀なくされる事業所もあるなど、人材難が企業収益悪化の要因になっている。
		学校就業関係者	3月の就活解禁からの学生の動きだし、企業の広報活動の動向については昨年と比べて大きな変化は無く、売手市場で推移していると思われる。
やや悪くなっている	家計	スーパー	これから先も値上げを予定している物（食用油等）があり、様々な物が値上げになる様子だ。益々財布の紐が固くなると思う。
		スーパー	今年のGWは10連休なので、消費・購買は例年以上のブレーキが掛かると思う。
		レストラン	原材料の高騰で原価も上がってきている。
		都市型ホテル	この先の予約状況は現在より更に悪化しており、若干の回復はすると思うが、好転には至らないと思う。
		スパ・銭湯	5月の10連休はすでに海外旅行の予約が殺到しているという報道から、地場レジャー企業はますます落ち込むのではないかと、危惧するところです。また消費税の引き上げによる駆け込み需要は、それほど見込めないと考えられます。
		建築設計事務所	業界の中では「今は忙しいが4月に入ると暇になる」という声が聞こえてくる。
		住宅販売会社	消費増税後の落ち込みから、やや悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（食料品）	買い回り客の減少から、やや悪くなっていると判断する。
製造業（金属製品）		以前から問題になっていた資材の入手難について、ここきてさらに深刻さが増している。これによって、短納期の仕事は断らざるを得ない状況になっている。	
不動産業		賃貸において、転入数が減り、単価が下がることが予想される。新築物件等の供給もないため、やや悪くなると判断する。	
サービス業（広告業）		ますます増税へのマイナスマインドが高まり、駆け込み消費すら疑心暗鬼であるため、積極的な宣伝活動となるか分からない。	
雇用	求人広告	仕入れや資材等の値上げの話を良く聞く。売価に反映されれば消費は鈍るかと思われる。	
	求人開拓員	国際的な政治面での不安定要因による心理的な冷え込みは続いており、建設機械等の業種では受注減が始まっているとの情報もあり、他業種への波及が心配される。	
悪	企業	製造業（印刷・同関連業）	売上げ減や資材高騰等から、悪くなっていると判断する。

(3) 鹿行地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	小売業	消費税増税の影響で、良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	物価が上がっている割には売上点数は落ちていない。タバコの金額前年比も継続して上がっている。以上の理由から、景気はやや良くなっていると考える。
		小売業（食品）	大手メーカーの商品の値上げが気になります。（各資材等の値上げが4月から非常に多いです。）
		都市型ホテル	定期修理があり、企業の方が多くみられる。
		ドライブイン	茨城国体や東京オリンピックなど地域経済に良い影響を与えると思う。
		ゴルフ場	予約状況でやや良くなっていると判断。
	クリーニング店	消費税増税の駆け込み需要で品物は動くと思いますが、その反動が次に来ると思います。	
	企業	製造業（電気機械器具）	新規受注の生産が本格化する見込み。
		建設業	消費税10%施行前には建築も多少多くなるのではないかと期待する。
		保険業	建築職人が忙しくなっている。
	変わらない	家計	商店街代表者
スーパー			良くなる見込みとなる材料に乏しい。
コンビニエンスストア			特に良くなる要因がない。
衣料品販売店			近隣のショッピングセンターや他企画が一時閉店等の噂や実際にあるもので、お客様が流れてきている感じはするが、景気とは関係ないと思う。
農産物直売所			変わる要素が見受けられない。職業柄もあるが、やはり安い物にしか消費者は飛びつかない。
農産物直売所			メロンの時期の集客は変わらないと思う。
小売業（菓子類）			特に変化がある要因はないと思う。
小売業（薬品店）			来客数は徐々に減少傾向が続いてはいるが、3か月間では差は見られないと思う。
和食レストラン			消費税増税前であり、好天要因がなく、大きく変化はしないと考える。
洋食食堂			人手の面で、通常の営業ができればやや良くなっているかもしれないが、人手の確保ができなければ、やや悪くなってしまうかもしれません。
海鮮料理店			当店は、年間100台位の観光バスがお食事にいらっしゃいます。5月～6月が一番多いです。それを含めて変わらないと答えます。
観光型ホテル			予約状況を見ると、利用者の増加がない。
観光型ホテル			先の予約状況をみても変わらないと思う。
運転代行			特に動きは見られない。
ゴルフ場			時期的に売上げの差異はあるものの、3か月のスパンで景気の変動する感じには思えません。
住宅販売会社			理由は無く、直感で思います。しかし、建築業界は一時的にやや悪くなると思います。
住宅販売会社			変化の要因がない。

変 わ ら な い	企業	農業関係者	農作物の販売は、景気動向に左右されるため、今後消費者心理に影響するの心配である。
		製造業（鉄鋼業）	消費税10%に引き上げられた場合を想定すると景気は悪くなると考えます。
		製造業（食料品）	中小企業のお客様が多いので、企業の業績が悪くならないとため。また、一般客については可処分所得が増えない限りは見込めない。
		製造業（食料品）	中国～米国経済の成長率減速、米国～日本の株価低迷、国内投資信託等の運用損失発生等々景気浮揚の要素が無い。
		製造業（鉄鋼業）	大きく景気の変動に影響する事項は見当たらない。
		建設業	決算を迎え、業務的には繁忙期に入りますが、景気そのものに関して良くなっているとは考えにくいと思います。
		運輸業（道路貨物運送業）	良くなる要素が無い。
		運輸業（道路貨物運送業）	現在のところ、業績をアップする要素が無く、横ばい状態が続くと思われる。
		金融業	良くなる取引先と、悪くなる取引先が混在し、全体的に変わらない状態になると感じる。
		不動産業	平成31年3月31日までの契約分に対して2%免税のため、今年10月からの消費増税に対して建築関係が少し受注が増えるかなと思います。
		内装工事業	仕事がある人は努力していると思いますが、その他多くの人は努力してもどうにもならないようです。
		火力発電所	販売計画において、前年比並み。
		雇用	民間職業紹介業
学校就業関係者	国体、オリンピック関連事業等の話題を聞くが、現状景気に結びつくほどのものではない。		
求人開拓員	確かに給料は上向いており収入も増えているが、それよりも固定費（社会保険料等）の額が増えており、チラシ等を見て安いもの（多少質が落ちるもの）を買う傾向が強まっており、消費の伸びが鈍化するのではないかと思う。		
やや悪くなっている	家計	スーパー	飲料メーカーの値上げが予定されている。
		スーパー	既存店ベースでは、客数がわずかではあるがやや減少傾向になっている。
		割烹料理店	ゴールデンウィークが、今年は特に大型連休になるので来店されるお客さんの傾向を考えると、客足は望めない。
		タクシー会社	アメリカと中国の貿易戦争の影響が日本へも波及するため、やや悪くなっていると思う。
		タクシー運転手	現状では、タクシー業に好景気は当分来ない。仕事が減少している中で、給料も各部門から見ても低すぎる。時給制の方が給料が安定している。若い人でも働ける職業にしないと、根本的にダメになってしまう。高齢者が多い職場だが、現状では持続できない。
		レジャー施設	お客様との商談で、今後の景気動向の不安から購入に慎重になっている方が多いと思う。
		理・美容店	景気が悪くなっているものもあり、低料金1000円カットで済ませる方が多くなっています。
企業	製造業（化学工業）	当社業績が徐々に悪化。	
	製造業（金属製品）	輸出に関する業種は、大幅に生産減少しているため、今後もこの状況は続くと思われる。	
	サービス業	改元とそれに伴う大型連休による影響から、繁忙感は強くなる一方で引き合いは減るものと考えられる。	
雇用	人材派遣業	地元の大手製造業で「下」から「上」に向かわなければ良くなる方向にならないと思う。神栖コンビナート関係の会社の話でも、良くて平行線ではというコメントが多い。	
	公共職業安定所	求職者が減少し、充足できない。企業の収益が上がりなくなってきた。	
悪	家計	日本料理店	3月以降の物の価格が上がる話は出ているが、良くなる話ではない。ゴールデンウィークも、一部が良くなるだけで、トータルするとマイナス面が多い。（休日手当などを出すので。）

(4) 県南地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	ホームセンター	消費増税前の駆け込み需要が見込まれると考えます。
		洋食食堂	皆さんの意見を聞きますと、仕事を無事に退職されて自分のやりたいことを見つけ、お孫様のお手伝いをして、また、介護中でも少しでも気分転換してまた頑張れるように来店してくださっているとのこと。
		テーマパーク職員	私どもレジャー施設としては、2019年度はゴールデンウィーク、お盆期間と、大型連休になる。この先の数か月の予約が早めに入り始めており、例年より事前予約が多いように感じられる。団体や企業様のレクリエーション、研修等の問合せやご予約が多いため、実際に景気が上向きなのではないかと推測している。
やや良くなっている	家計	家電販売店	増税前の駆け込み需要等が期待できる。
		小売業	新元号の祝賀ムードやGWの10連休など、消費環境は好条件が揃う。2020年東京五輪など上向き要素が多い。
		旅行代理店	元号が変わることや、ラグビーや来年のオリンピック・パラリンピックなど、大きなイベントを控え、業種と直接関係ないことでも、何か元気をもらおうというか、前向き思考的な雰囲気が感じられると思う。
		タクシー運転手	会社近くに物流倉庫がオープンするので、期待できると思う。
		タクシー運転手	タクシーを利用しての買い物や通院が増加していくと思われる。
		理・美容店	新しい年号に変わるので、やや良くなるのではないかと思う。
	企業	建設業	消費税が10%になる前にリフォーム工事を完了させたいと思うお客さんが多いと思われる。
		運輸業（倉庫業）	新規案件については落ち着くことが見込まれるものの、働き方改革による人員確保、物流の変化が考えられる。
	変わらない	家計	スーパー
スーパー			消費税がアップするまでは変化はないと思う。
コンビニエンスストア			固定客が多いので変わらないと思う。
コンビニエンスストア			直近1年間変わりがないため、変わらないと判断する。
家電販売店			昨年末に特需があり、増税直前まで変わらないと思われます。
和食食堂			改善要因がない。
日本料理店			この先3か月はこのまま続くと思われる。
都市型ホテル			改元により、概況での動きが見えそうであるが、特に宿泊や宴会でのオンハンドでの話題はそれほどでもなく、普通に受注できているので、景気にも左右されることは無いと思われる。
都市型ホテル			例年、同じ団体様の予約が入っており「例年通りで」という打ち合わせが多々ありますので、今のところ変更はないかと思われます。

変 わ ら な い	家計	タクシー運転手	飲食店関係客の利用者の増加が見込めない。人口増加や企業進出の見込みがない。	
		タクシー運転手	特に何も変化が見受けられない。	
		サービスエリア	常磐自動車道においては、交通量や入館者数の変動が今後も生じるものと想定されるが、お客様個人の消費傾向についてはそれほど変化はないと思われ、今後3か月間においても特に影響のある事象は見当たらないことから、景気動向についてはとやまず変化なしと判断した。今年のゴールデンウィーク10連休のお客様動向がどのようなものか予測が立てづらく、人員・仕入れに苦慮している。	
		ゴルフ場	予約状況、コンペの開催予定など、例年通りに推移しているように見える。	
		ゴルフ場	現在の状況は大きな問題がない限り継続すると思われる。3か月後の予約状況も変わらないと推測する。	
		レジャー施設	判断できる材料はない。	
		理・美容店	最近オリンピックの話などが出てきたので、だんだんと良くなるかと思いますが、まだ1年も先なので、変わらないという判断しておきました。夏以降良くなると思います。	
		設計事務所	来客数、内容等変化がない。	
	企業	農業関係者	食品等価格引き上げの情報が多。遊びにお金を使う話は少ない。	
		農業関係者	お客様全般における「買い控え傾向」は依然として続いている。	
		製造業（一般機械器具）	状況に変化がない。	
		製造業（食料品）	悪い状態で変わらないと思います。	
		製造業（非鉄金属）	自社の業況は回復見込みだが、景気自体は悪くない。	
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。	
		建設業	このままいけば、3か月先は景気がよくなっているような気がするが、身の回りの動きがそれほどでもないように思う。新築や改修している建物が以前程ないのである。個人的には景気は良くなっていると感じているのだが、3か月先はこのままの状況が続くのではないかと思う。	
	金融業	2019年9月28日（土）～10月8日（火）まで「いきいき茨城ゆめ国体2019」が開催され、茨城県の各市町村において、各種競技が繰り広げられ、経済効果も期待できる。経済効果のうち参加者の宿泊・飲食費に施設設備費や運営費などの直接効果や、それにより県内企業の生産が伸び、新たな消費が生まれる間接効果などもあり、事業費に対する経済効果や雇用誘発もある。しかしながら、これらは一時的な要因であり、その後の経済発展に結びつくものではないと思われる。現状を踏まえ、各業種においても売上げが大幅に増減するような要素はあまり見当たらず、今後3か月先の景気についても現状と変わらないものと思料される。		
	雇用	求人広告	お客様との会話の中で、先々の良い要素を感じない。	
		公共職業安定所	ここ3か月の新規求人数は前年同期比（平成29年11月～1月）1.7%増と動きに鈍さがあり、景気が良くなる要因は見当たらない。しかし、人手不足の状況は続いており、景気が悪くなる要因も見当たらないことから、引き続き状況は変わらないと思われる。	
		学校就業関係者	良くなる、悪くなる要因が考えられない。	
	やや悪くなっている	家計	スーパー	各メーカーの商品の値上げによる買い控えが考えられる。
			スーパー	昨年7月に、近くに大手スーパーが出店したので、次の7月までは前年の売上げには届かない。
農産物直売所			ここ数年、農家は異常気象に悩まされ、生産量も左右されている。この状況は今後も続くと思う。	
小売業（生花店）			駅周辺のみ環境整備が進んでいるが、周辺部分、特に旧市街の整備が十分ではなく、街中が汚い。今後の展望が見えない。	
小売業（米穀）			今夏の冷夏予想と昨年産の収量不足で、米価の値上がりが見込まれます。	
寿司店			常連さんの何人かが3月をもって退職したり、転職でいなくなる。毎日のように来店した客がこなくなる。がっかりです。	
ボウリング場			増税前の景気マイナスの波が起きそう。	
企業		製造業（食料品）	消費税が10%に引き上げられた場合を想定すると、景気は悪くなると思います。	
		製造業（窯業・土石製品）	大型連休、祝賀ムードで、業務よりレジャーに関心が向かっているのではないでしようか。	
		製造業（窯業・土石製品）	G20サミット、茨城国体等のプロジェクトの影響により、道路規制や交通規制が行われることで、工事や物流に影響が出ると思われる。	
	不動産業	売買・賃貸とも予算が低くなっているように感じる。		
建設業	受注した物件の利益率が減少傾向にあり、今後もこの傾向は続くと感じる。			
雇用	人材派遣業	中国での景気低迷が影響し、企業業績が思わしくないと予測をしている。		
悪	-	-		

(5) 県西地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	家電販売店	増税の影響で駆け込み需要の見込みがある。
		旅行会社	大型連休があるため、消費量が増えると思われる。
		タクシー運転手	同業他社の、仕事に対する姿勢が低下しているように見受けられる。電話回数が多く、当社に集中しているようである。
	企業	農業関係者	良くなっているという希望的観測になるが、野菜の相場が上がることで貯金・購買意欲が増す。
		製造業（化学工業）	現在の市況悪化が多少は改善するのではという漠然とした期待。
	雇用	求人広告	短期的だが良くなると思う。企業の進出など明るい話題があり、その影響も今後少なからずあると思う。
公共職業安定所		求人企業の景況判断で製造業、建設業では多くで好調と聞く。受注はあるが人手不足による調整があるとのこと。	
変わらない	家計	商店街代表者	消費税率が上がることで、「今のうちに買おう」ではなく、財布の紐を締めている感がある。
		コンビニエンスストア	新元号の制定などで祝賀ムードは広がるが、来店客数が大きく上昇することは無いと思われます。
		衣料品販売店	季節的な要因を除くと、来客、売上げ等変化は無いと思われる。
		農産物直売所	今後も青果物の単価安は続くと思う。また、客単価の伸びもなかなか考えられないので、景気は変わらない。
		製茶販売	もしかしたらもっと悪くなっているかもしれないが、そこは少し期待したいので「変わらない」という判断にしておく。
		タクシー会社	予想ができない。
		タクシー運転手	世界的な経済動向から、変わらないと判断する。
		ドライブイン	10月の増税に伴う景気の変化が読めない。
		ドライブイン	消費増税前の駆け込み需要のある業種ではないため、大きく売上げが伸びる要素はなく、変わらないと思います。
		ゴルフ場	予約状況から、変わらないと判断。
		ゴルフ場	GWの10連休などもあり、海外旅行者等増える反面、消費を抑える傾向も予想される。購買などは期待できない。
		パチンコ店	お客様との会話の中での判断です。
		レジャー施設	GW等休みが増す分、買い控え等も増す。
		理・美容店	単価の低下に加え、失客も少し増えてきた。
	商店街代表者	消費税の増税を間近に控えており、消費の落ち込みが予想され、良くなっているとは考えられない。	
	企業	製造業（食料品）	良くなる要素が無い。
		製造業（窯業・土石製品）	今月が変動月であったため、新規案件を含め、今のところ落ち込む要因がない。
		製造業（金属製品）	良い部分、悪い部分と極端な局面があり不透明であるが、結果的には現状維持ではないだろうか。
		製造業（電気機械器具）	長期的な変動予測は難しいが、この状況は継続すると思われる。
		建設業	特に変化を感じない。
金融業		今後3か月では大きな変化は無いものと思料するが、旧千代川地区「しもつま鯨工業団地」の開発が進んでおり、圏央道との相乗効果で市近隣の景気上昇が期待される。	
サービス業（コンサルタント業）		3か月後も変化はないように思います。	
雇用	人材派遣業	3月くらいから問い合わせが減った。	
	学校就業関係者	求人企業数は多いが、生徒が少ないため職種により人手不足が続くと思われる。	
	求人開拓員	今現在働いている方々が仕事を変えたりすることがない限り、求人が増えることもないだろうし、会社側も待遇を良くしたりして社員が辞めて行かないよう工夫している様子。	

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	3か月先は大型連休もあり、改元にもなり、どうなるか大変に不安。新たな時代を迎え、景気も気持ちも良くなって欲しい。
		スーパー	消費税増税が10月にあるので、財布の紐が固い。昨年は天災が多く、今年も気温が高い予報が出て不透明。
		自動車販売店	新年度切り替え（4月～）になると、販売台数が減少する。
		ホームセンター	大手主要企業の春闘賃上げが前年割れとの回答が多いことから、更に景気足かせとなり期待できない。
		都市型ホテル	5月の大型連休や消費増税によりお客様が減少する。
		旅行代理店	良くなる要因が一つもない。安倍首相が話している良さは一つもない。これから消費税が10%になる。10月からの不安が相当出ている。日帰りの桜見学を計画していますが、大型バスの半分くらいの参加者です。中型・小型に変えて出発します。
		建築設計事務所	建設会社の方が軒並み「ヒマ」と言っている。
		住宅販売会社	消費税アップに伴い、建築控えがあると想定される。
企業	製造業（印刷・同関連業）	紙媒体での情報伝達がジワジワと少なくなってきており、回復が望めない。	
	製造業（輸送用機械器具）	2019年度、引き続き輸出用が減産の見込み。	
	製造業（窯業・土石製品）	暇になっても、忙しくなることはないと思います。当社も生き残るために、業態を変えたり、今の業務に関連する中で新規に何か事業を立ち上げたりすることを模索していかなければならない時期にきているのが現状です。	
	建設業	工事の発注が遅れば期待が持てない。資材の高騰等もあり、悪くなりそうだ。	
悪くなっている	家計	スーパー	商品の値上げ（メーカー）が相次いでいます。消費にも影響があると考えます。
		レストラン	境町の道の駅にレストランが4月19日オープンする。新国立競技場の設計を手掛ける、隈研吾が設計した建物である上、中に3つもレストランなどが入るので、地元の私のレストランは大打撃です。
		日本料理店	街に魅力がない。空き家が多い。商業、商店の閉店が多い。私共も駅前店であり、ビルの空室を再営業したりして努力をしているが人を集めるのが大変。子供達を教えるパソコン教室等誘っているのだが、子供達もいない。街の運営を市に求める。
		飲食業	お客様から消費増税の話が聞かれる。お金を使わない感じがする。
		クリーニング店	景気は良くなっていると言われているが、ほとんどの人が実感なしと言っている。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	ボルト不足による鉄骨工事の遅れが身近でも見られる。
	スーパー	年号の変更を伴う大型GW連休を前に無駄な消費は控えている印象がある。特に嗜好的な商品は売れ方が弱くなっている。
	酒・各種商品小売業	LINE PayやPayPay等を導入する店が増えてきていると思う。
	コンビニエンスストア	タバコ値上げ・増税があってもそれほど大きく下がっていないことから、全ての方の景気が悪いわけではなく、格差があるように感じます。高単価でも価値のある商品は売れているため、お金の遣い方はよりシビアになっていると思います。
	小売業（弁当・惣菜店）	地元企業の不景気感から物販、飲食ともに不調である。しかも求人状況は良くなり、原材料や経費の増加が見込まれ、今後体力のない個店には大きな影響が出ると心配される。とはいうものの全体的には横ばいで進むのだろう。また、零細企業では後継者不足による存続の危機はよく話題になっている。
	小売業（燃料）	特に個人客の消費については節約傾向が続いている。
	小売業（酒類）	身近な同業者との会話の中で、将来に対して不安を抱いている。
	小売業（水産物）	増税に対する関心が高まっている。人材不足の声を、経営者同士での会話でよく聞く。
	小売業（時計）	今まで使っていた商品（古い物）の修理依頼が数年前より増加している。新しい商品の販売には良いことではないが、修理代金が高くても結構という客が多くなってきている。
	レストラン	県北（特に日立か？）の景気はどうして悪いのでしょうか。皆さんそれぞれ努力して営業しているのですが。
	ラーメン店	コンビニ関係の方達は悲鳴をあげています。業態全体を見ても、これから人を雇用する側や働く側の気持ちが離れる一方なので、「一部を除く」格差社会の時代が本格的に来るのではないかと思います。
	スナック	ニュースの事件などを見ると、潤っている人とそうでない人が両極端だと思う。
	ラーメン店	昨年同じドラッグストアが1店舗開店しました。今年も同じドラッグストアが1店舗とコンビニ1店舗が出店予定です。
	食堂	いつも思うことですが、あまりに上下の差がつき、「いつも自分が払ってやっている」「自分の言うことを聞け」と言わんばかりに物を言う。私が何か言おうとしてもタイミングが悪くて、金が無い者は何も言えない。バカみたいな世の中で悲しいです。上下の差を無くして、皆が大らかな日々になるように願っています。
	観光型ホテル	お客様は、必要とされることには出費を惜しまない。個人が満足するかどうかの問題である。
	観光型ホテル	日立市のかみね動物園にパンダを誘致するとのことで、誘致に成功すればお客様が増えるのではないかと喜んでいる。
	タクシー運転手	偽の景気上昇としか思えない。働き方改革を続けていたら、利用者など増えない。（給料が増えない。）
	タクシー運転手	今後国体やオリンピック等で、景気が回復して欲しいと思っています。
	タクシー運転手	市内主要駅での夜間タクシー利用がなくなる。
	ゴルフ場	20～30代前後の女性プレーヤーをしばしば目にする機会が増えた。
ゴルフ場	茨城国体を迎え一人一人の行動が地域を明るくする。ゴルフの健康寿命延伸活動に向かって1年を大切にしていきたい。	
企業	林業関係者	丸太、製品等の流通は通常通りと見ている。また、大型のバイオマス施設等の建設が進めば、流通は活発となると考える。
	製造業（電気機械器具）	人材確保が困難な状況である。新卒・中途・派遣すべてに言えることであるが、特に新卒の大卒予定者は非常に厳しい。合同説明会に出展しても、当社ブースに来る学生がかなり減っている。2019年3月卒業対象の合同説明会から状況が急変した。
	製造業（化学工業）	金融機関は、私募債等の手数料がついた商品をすすめている。これも超低金利の影響。
	製造業（電気機械器具）	中国向け製品（部品）の生産数に伸びが無く、メイドインジャパンにも少しずつ陰りがあるのではと思う。
	製造業（輸送用機械器具）	米中の貿易摩擦騒動はやや軟化傾向にあると感じられる。一方、4月以降に制定される外国人受け入れの規制緩和がどのような内容で運営されることになるのか注視する一方、問題解決の起爆剤となることを期待したい。
	製造業（精密機器）	多分全ての業種で減っていると思います。特に、車が減っていると危機的な状況になると思いますが、海外ではEVの立ち上げが始まっています。国内は20年からと聞いていますが、遅れている感じがします。今年はまだあまり良くないのと思うかと思っています。
	金融業	僅かではあるが、中古住宅の市場に動きが見受けられる。
	情報通信業（情報サービス業）	人手不足で新卒採用・中途採用が厳しくなっている。また、退職・他社流出の傾向も微増している。
雇用	求人広告	身をもって実感できるほど国体やオリンピックの好影響というのは感じない。
	公共職業安定所	人手不足が続いているため、当所からの未経験者が応募できる求人や年齢条件緩和の提案に応じてくれる事業所が増えてきている。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	秋に予定されている茨城国体に関する売上げが、若干ですがあります。
	商店街代表者	元号が5月に変わる予定なので、金融機関などでは、日付スタンプ等の対策のため受注が増えた。昭和から平成に移行するときは、パソコンが普及しておらず、ゴム印にて対応した。昭和の印刷された封筒、伝票、印刷物の訂正に二本線のケシ棒と「平成」が一緒になったゴム印が沢山でた。今度の元号改正は特需がどれほどあるか分からないが、多少は特需に期待している。
	百貨店	富裕層の消費は堅調であるが、中間所得層の消費マインドが低迷傾向である。
	百貨店	インバウンド（個人客）の来店が目にとまるようになってきた大都市圏に比べるとまだまだ少ないが、今後期待している。
	スーパー	消費税増税に関する事で、関心を持っている方が以前より増えているように思います。キャッシュレスが少しずつ増えているように思います。
	スーパー	PayPayの100億円還元や、泉佐野市の100億円キャンペーンなど、「100」をキーワードにした大手資本のキャンペーンが奏功しているようにみえる。自分の回りではPayPayが使えるところで集中して買物をしているとか、今年は早めにふるさと納税したとかの話が話題になっており、このところお金の使い方が変わっている。
	コンビニエンスストア	ネット通販のセールの際に、ネット通販商品の店頭受け取りが急増するので、今以上にネット通販のセールが増えれば、店舗の売上げ減少の要因となる。
	農産物直売所	観梅シーズン中の県外ナンバーの車の数が少なく感じられた。
	レストラン	食材・加工品など原材料費の高騰が続いている。
	レストラン	元号が変わることにより、色々対応が話題になっていることや、人手不足の話を耳にする。
	割烹料理店	景気というよりも、消費税増税がどう響くか心配。
	観光型ホテル	この時期以前はシニア層がほとんどだったが、最近では家族連れや一人旅、外国人など多様な客層になってきている。
	旅行会社	給料は上がらない。ボーナスも出ない。辛いです。
	タクシー会社	子育て支援「ママサポートタクシー」の登録件数が大幅に増加し、ご利用も陣痛時や通院・買物等に登録者の6割以上の方々が利用されています。現在は、特定地域限定にて受付してはいますが、本事業の地域拡大によりご利用登録者が増加すると判断しています。子育てにやさしく便利な地域のPRを県外に発信して、定住人口を増加させることが大切な取り組みと位置づけて利用者の意見を反映しつつ取り組み強化を図っています。
ゴルフ場	景気が緩やかな回復局面にあると言われる中、個人・団体客を問わず、娯楽・レジャーの対価としての支払金額についての意識はより高まる傾向にあるように感じています。	
ペット美容室	犬、猫の殺処分がワースト1からワースト2にやっとなったが、まだまだ最悪の事態である。先日、新聞の折り込みに動物愛護のチラシが入っていた。前の知事の時一度もそういったことはなかったが、やっ和大井川知事で動いてくれたようだ。だが勘違いしないでほしい。殺処分がピリから2番目になっても、その分捨ててしまう残忍な人間が増えてきているのも事実。県知事さんにはそのことも知っていてほしい。ではどうしたらいいか。小さな命の尊さをもう一度きちんと見直し、人間を教育する場を作って欲しい。まずはそこからやらないと今の状況は変えられない。	
企業	製造業(食料品)	特に外食業界が苦しい。軽減税率対象外も不公平に感じます。
	製造業(印刷・同関連業)	資材の値上がりに対して、価格に反映できるか不安である。
	製造業(一般機械器具)	赤塚駅近く、元葉屋の跡地に、スポーツジム、コンビニ、携帯ショップ、ピザ屋、その他小さな街ができました。
	製造業(精密機械器具)	新製品の投入が遅れ、自社製品の競争力不足を心配したが、それを感じさせない好調な動きです。また、2社OEM製品は長く低迷傾向が続いていましたが、ここにきて海外市場で活性化しており、エンドユーザーのニーズの波に乗ったと感じています。当社の3月決算は過去最高の売上高、経常利益高となる見込みです。
	建設業	生活の場の景気向上に期待感なく、将来に向けてより良い生活をするか自己防衛している。私達団塊世代は80歳に向けての個人施策が大切と感じます。
	運輸業(道路貨物運送業)	新しい運送約款が荷主に徐々に認知され、運賃等に影響してきている。
	金融業	2月中旬から3月末まで、水戸梅まつりが偕楽園にて開催されており、晴天の日には渋滞が起こるほど賑わっている。
	不動産業	笠原(県庁周辺エリア)の人気は高いと感じる。駅近郊の賃貸物件を好まれる人も多いため、駅徒歩圏(10分以内)の住居戸数が増えることより活性化すると思う。秋口の米沢の商業施設完成に伴い、景気向上に期待したい。
サービス業(広告業)	印刷用の用紙の値上がりが大きく、仕入れ側としては利益をどんどん削られている状況。受注案件が伸びない中で、今後ますます厳しくなると思う。	
雇用	公共職業安定所	働き方改革関連法が施行されることに伴い、有給休暇取得促進や長時間労働是正への取り組みに着手する中で、人手不足の職場環境下での従業員の適正配置や業務量の見直しなど、事業主は難しい判断を迫られているようである。人手不足対策として賃金等の採用条件を見直す事業所が増えているが、原材料価格の高騰が収益を圧迫しており、賃金の引き上げ余力は少なくなっているようである。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	近隣に新たなドラッグストアが出店（建設中）している。現状の通行量が多いバイパスでなく、旧国道の周辺敷地を開拓し、出店している。ますます地元の小売店への影響が危惧される。
	スーパー	10月の消費税増税のポイント還元を見越した、QRコード決済やクレジット決済事業者からの商談申し込みが増加している。
	小売業	若年層の顧客が増えない。ネットや、購入地域の流出など、購入場所の変化が著しいのかと感じている。40代以降～中高年のお客様は、特に変わらず来店いただける。当社は小売販売店だが、売り方や、業態を変えるなど、変化も必要だと思う。このまま、今まで通りのことしかしなければ、経営の状態が厳しくなると思う。
	和食レストラン	何も大きな変化、動きがないというのが逆に特徴的と言える。良い意味ではなく、変に安定してしまっている状況にある。
	洋食食堂	直接景気とは関係ありませんが、地元で140年の歴史のある学校の閉校式に出席しました。時代の流れ、少子化の続く現代とは言え、「地元の身近なコミュニティー」がなくなってしまっただけの良いのかなと考えさせられました。
	割烹料理店	元号が変わることで忙しくなる業種もあると思う。
	日本料理店	業者の方から値上げのお知らせがとても多い。さらに悪くなるのではないかと心配です。
	海鮮料理店	当たり前ですが、私達の仕事はアルコールが付き物です。また、働き方改革など、お客様の時間の使い方、お金の使い方も関係します。人口、車社会、何をとつても田舎はマイナスだらけです。
	タクシー運転手	歩合制で給料をもらっているが、この状態でいいのか？安定性が欲しい。高齢者が多い職場で人員不足が目立っている。人を運搬する仕事柄、安全に仕事ができるように改善していかないと職場が維持できないと思う。
	ドライブイン	冬は、雪の日は勿論、雪の予報（実際は雨でも）の日でも観光への影響は大きい。
	ゴルフ場	10月の消費税引き上げ動向の影響が心配である。
	理・美容店	人口が少なくなっている。
	理・美容店	どの業種の方も人手不足や忙しいというお話を伺います。
	クリーニング店	カーテン工場では、人手不足のため、日曜日に交代で出勤している。
住宅販売会社	運送業は、完全に人手不足ですので心配。また、それが他業種にもコスト面で影響がある。	
企業	農業関係者	消費者の健康志向が高まっているため、繊維質等根菜類の販売が増加傾向にあると思われる。
	製造業（食料品）	TV放送の影響もあり、鯖・鱈缶詰ブームが継続している中で、前浜水揚げの魚価高持続に伴う鯖缶詰の販売価格上昇となったが、現時点では売れ行き好調が続いている。一方で東南アジア（中国、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア等）から輸入鯖缶が急増しており、今後の販売状況推移に注視している。
	製造業（金属製品）	大手企業から、紙一枚で値上げ要請が上がっている。大幅に値上げするものには、10～15%も商品単価が上昇する。
	建設業	建設業界での、労働者不足は相変わらずだと思います。外国人労働者に対して政府の見解は様々で流動的です。日本人雇用増に向けて活動することはないのでしょうか。
	建設業	古家化粧造りのリフォームが多くなってきている。近所の人や親戚の人も見学に来ている。屋根だけ残して新しく作るので、内部は新築と同じです。
	保険業	学校跡地利用でできた「なめがたファーマーズヴィレッジ」が面白くなってきている。一万人の芋ほり大会が今秋10月に予定されており、ギネスに挑戦するという。このほか、アジサイが3万本植樹され、アジサイの森をつくることも予定されている。日本一のアジサイの森を目指し、将来的には20万本に増やす予定もある。
	不動産業	去年の8月頃から鉄骨用のボルトが不足とのことですが、今は、物によって納品が3～6か月位先とのこと。また、値段も2～3倍位高くなっているとのこと。
雇用	民間職業紹介業	当地域における各産業では、日本人の雇用が難しい状況の中、「外国人技能実習生」の受け入れが多くなってきている。また、職種は限られるが、今年4月からは新しい在留資格「特定技能」による外国人の雇用も始まる。「特定技能」による実際の雇用は、実際すぐには難しいと考えるが、いずれにしても日本人労働者が減少するなか外国人に頼らざるを得ない状況になっていることは間違いない。
	公共職業安定所	病院の統廃合があった。
	学校就業関係者	近隣コンビニ店員が、人手不足なのかな年齢が高くなっている。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	外国の労働者（客数）が増えている。
	スーパー	来店客を観察すると、足元商圏のお客が多く、遠方からのお客が減った。
	スーパー	求人広告を出しても反応が鈍い。まだ人手不足が解消されない。
	小売業	物からコトへの消費傾向が見られる。オケーション（バレンタイン、ホワイトデー）などは好調。身近な人へのささやかなギフトは根付いている。
	小売業（生花店）	最近、一棟売りのアパートや事務所が増えてきたように感じる。（築年数の関係かと思われるが詳細は不明）
	小売業（米穀）	PayPayでの支払いが増えました。
	和食食堂	近くのコンビニが2店閉店しました。
	和食食堂	原材料の高騰による粗利益の圧迫がある。
	日本料理店	当店もそうだが、夕食に来るお客様が「暇だ」と言っている。
	洋食食堂	歓送迎会の予約が、学校、役所から入ってましたが、いじめの問題（3年前）がテレビ、新聞に報道されてからキャンセルが3件ありました。残念でした。コンビニの知人オーナーは、長年売上げを伸ばしていたと思っていましたが、高齢の街になっていくという事を考え、別の新しいニュータウンに出店しました。周りは大変だろうと言っております。競合店や夜0時まで営業のカスミなど、とにかく多すぎます。
	都市型ホテル	今年は改元と消費税で大きく変わる年であると思われる。改元による経済効果もアップすると思われるが、消費税増税での影響で増税前で駆け込み需要や増税後の買い控えなどが見込める。ホテル利用に関してはないが、営業先では話が出ている。
	旅行代理店	やはり大きなスポーツイベントは様々な分野で良い方向に影響があると思う。
	タクシー運転手	昼時にファストフードの行列が緩和され、1食1000円コースの和食屋の混雑が目立つように思う。
	サービスエリア	パート・アルバイトの募集をするも、応募が少なく困っている。
	ゴルフ場	来場するお客様から、料金面での交渉は少なくなっているように思う。
	ゴルフ場	最近、「平成最後の～」という言葉が良く使われる。この言葉によって商品等も売れ、活気が出ていると思う。ただ、平成が終わるのは少し寂しさを感じる。
テーマパーク職員	屋外型のレジャー施設は現在景気が上向きのように感じる。当グループでも新規施設が増える中、周辺地域でも類似施設が新たにオープンしている。この点から、お客様のニーズがあり、体験型の施設への消費が多いように感じる。屋外型のレジャーの場合、運営コストは他業種に比べ高くはなく、消費税率の引き上げや、物価の上昇にあまり大きくは左右されず、ご来場者が横ばいか上昇している点からみても、弊施設のようなレジャー施設では、少しずつではあるが、景気はまだこの先も悪くない状態をキープできるのではと考える。	
理・美容店	やはり、オリンピックの話が増えていることと、近所の分譲した土地に家が建たなくなってきた（売れなくなってきた）ような感じがします。この先どうなるのか不安です。	
理・美容店	現金払いの方が減った。	
企業	農業関係者	普タウン開発で得た土地を行政へ寄付する会社が現れた。死ぬ高齢者が生まれる数より3倍も多い。
	製造業（その他）	人手不足により、新案件があっても受けられず、現状維持にとどまるしかないのがもどかしい。
	製造業（窯業・土石製品）	消費税増税前に食料品や資材など多くの品目の値上げが見られる。
	製造業（非鉄金属）	消費増税の影響が、どのように、どの程度、いつ頃から出るのかが懸念材料。
	建設業	建築工事にはあまり大きな差は見られないと思います。
	建設業	これを書いている時点で、茨城国体まであと195日である。当町でもやる国体競技があるのだが、盛り上がっているのは役場職員だけで、町民は全然盛り上がっていない。それ以上に盛り上がっていないのが、東京オリンピックである。私がどうこう言っても仕方ないのだが、どちらも何とか大成功でおさめたいものだ。
	不動産業	当店の賃貸空室は過去20年で最多であるが、TX沿線開発地域での賃貸物件建設はまだまだ続くと思われる。今後増々空室が増加し、賃料の価格破壊がおき、所有者・仲介業者は大変な状況になるのではないかと。
	運輸業（倉庫業）	働き方改革に向けて、時間外管理に重点を置くこととなり、こなしきれない運送や作業が見込まれる。また、運送面で高速道路の利用が増えていくと思われる。
	金融業	土浦市では、自転車のまち土浦として、2019年3月30日（土）に「りんりんポート土浦」がオープンする。りんりんポート土浦の近隣施設に亀城公園（土浦城跡）、土浦まちかど蔵「大徳」、ネイチャーセンター等も宣伝し、土浦駅には、シャワーやコインロッカー、レンタサイクル、サイクルショップなど、サイクリングを楽しむためのベースキャンプであるプレイアトレ土浦を完備し、イベントを開催して集客を図り、街の活性化に結びつけている。また、つくば市では、3～6歳の自転車デビュー専門「こども自転車教室」が開催される。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	秋に消費税が上がるらしいこと。景気指数が悪いこと。仕入先の意見も同様、良い状況が何も見えてこない。個人商店は我慢するしかないのだろうか。
	商店街代表者	イトーヨーカドーが2月17日に閉店した。既存の客がどこに流れるか興味深い。当店は駅ビルにも出店しているが、店内はいくらか賑やか感はあるが飛びぬけて売上増は見込めないようだ。
	スーパー	10月の増税、軽減税率への対応、キャッシュレス推進の対応で業務が増えていきます。
	製茶販売	オリンピック景気も望めない(茨城県は関係ないでしょう?)、先行きが見えない。不安からの出し渋り。スーパーで去年の同日との比較をしているが、去年より落ち込んでいるようだ。安売り商品しか買わないお客様に対し、スーパーも困っているようだ。一般小売店でそうそう安売りも出来ないのに、集客を望むのも難しい。老人と若者がお金を持っていると思っていたが、若者の方が老人より出し渋りはしないと考える。
	レストラン	境町の道の駅にレストランができるので、これからどこまで売上げが落ちるのか分からない。
	日本料理店	茨城県は筑西市と話し合ってもらいたい。魅力ある街づくりに協力してもらいたいと思う。
	旅行会社	今年は茨城国体があるので、各方面何かと活気づいているような気がする。
	旅行代理店	チラシを要求に来たり、旅行の相談に来て、実際に料金を払って参加してくれる方が少ない。
	ゴルフ場	引越し業者が忙しいという話もあり、企業の異動等が多いのかなという印象。異動が多いということは、企業の業績もそこそこ良いのではと思います。
	商店街代表者	大地震が各地で起きており、また、次の地震が、いつ、どこできても不思議ではないことが消費より貯蓄にまわってしまうのではないか。
	建築設計事務所	身のまわりの建築工事はポツポツで数少ないのに、鋼材やボルトが品薄で半年待ちだとか。これぞ「実態の無い好景気」。
企業	製造業(窯業・土石製品)	ガスの価格変動が激しくなっているが、外部要因が大きいので企業努力では調整が難しい。
	製造業(窯業・土石製品)	最近、私の交友関係、隣近所、親戚等で、年金生活を選んでいる人が数多く見受けられます。年金生活の方が私より収入が多い。まだまだ働ける体力があるのに、もったいない。残念だと思ふ心持ちがします。自分は、「私達自営零細企業の経営者は体が朽ち果てるまでやる責任と使命意識をもってやらなければ本当の経営はできない」と認識しつつ、人生を全うしたい。
	製造業(金属製品)	短納期化の要因なのか、同業者からの注文が増えている。
	建設業	資材等のコストも上がり、リースや外注などの単価も上がっていて、利益率が悪くなっている。
	不動産業	消費税増税を意識した来客が増えている。消費税増税を意識したメーカーの営業活動が活発化している。
雇用	求人広告	物価の値上がりを感じるケースが増えた。自分の身のまわりでもそうだが、仕事関係でも耳にすることが増えた気がする。
	学校就業関係者	学院生募集の広報活動において、高校生の就職率が良いため、専門学校の生徒獲得に苦勞している。